

ELECOM

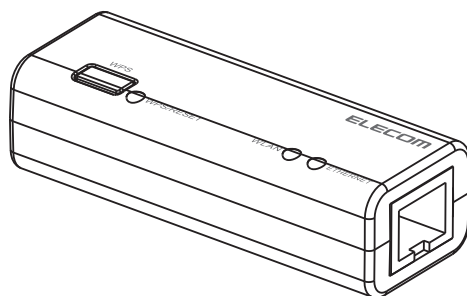
Portable Router

無線LAN ポータブルルーター

WRH-300xx3 シリーズ
WRH-300xx3-S シリーズ

User's Manual

このマニュアルは、付属の「設定手順書①」
「設定手順書②」とあわせてお読みください。



エレコム株式会社

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	無線 LAN ポータブルルーター「WRH-300xx3」「WRH-300xx3-S」を「本製品」と表記しています。
11n/11g/11b	IEEE802.11n 規格を「11n」、IEEE802.11g 規格を「11g」、IEEE802.11b 規格を「11b」と省略して表記している場合があります。
無線ルーター	無線 LAN ブロードバンドルーターを略して「無線ルーター」と表記しています。
無線親機	無線ルーター、無線 AP を総称して「無線親機」と表記しています。
無線子機	無線 LAN 機能を内蔵した機器、無線アダプターを取り付けた機器、無線コンバーターを接続した機器などを総称して「無線子機」と表記しています。また、無線アダプター、無線コンバーターそのものを「無線子機」として表記している場合があります。
有線クライアント	有線 LAN 機能または有線 LAN アダプターを搭載したパソコンなどを「有線クライアント」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記号	意味
 注意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
 MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバー、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTP サイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows Vista、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
- iPad、iPod touch は、Apple Inc.の商標です。
- Android、Android ロゴはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- 本製品は、GNU General Public License に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。
お客様は、Free Software Foundation が定めたGNU General Public License の条件に従って、これらのソースコードを再頒布または変更することができます。
これらのソースコードは有用と思われるが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行いません。
詳細については、弊社ホームページを参照下さい。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、弊社ホームページを参照下さい。尚、配布時に発生する費用は、お客様のご負担になります。
- そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきました。

ELECOM

無線 LAN ポータブルルーター

WRH-300xx3 シリーズ WRH-300xx3-S シリーズ

User's Manual ユーザーズマニュアル

はじめに

この度は、エレコムの無線 LAN ポータブルルーターをお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには本製品を使用するにあたっての手順や設定方法が説明されています。また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。

本製品の基本的な導入手順については、付属の印刷物による各種説明書をお読みください。

安全にお使いいただくために

製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用の前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

本製品は、人命にかかわる設備、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全にお使いいただくために」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警 告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
 注 意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
	丸に斜線のマークは何か禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。
	塗りつぶしの丸マークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されている場合があります。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。



警 告



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断してください。

感電、火災、故障の原因となります。



水気の多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはおやめください。

感電、火災の原因となります。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。

分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



注 意



通気孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離れてご使用ください。

無線 LAN をご使用になるにあたってのご注意

- 無線 LAN は無線によりデータを送受信するため盗聴や不正なアクセスを受ける恐れがあります。無線 LAN をご使用になるにあたってはその危険性を十分に理解したうえ、データの安全を確保するためセキュリティ設定をおこなってください。また、個人データなどの重要な情報は有線 LAN を使うこともセキュリティ対策として重要な手段です。
 - 本製品は電波法に基づき、特定無線設備の認証を受けておりますので免許を申請する必要はありません。ただし、以下のことは絶対におこなわないようにお願いします。
 - ・本製品を分解したり、改造すること
 - ・本製品の背面に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざん等の行為をすること
 - ・本製品を日本国外で使用すること
- これらのことに違反しますと法律により罰せられることがあります。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近く、医療機器の近くなどで本製品を含む無線 LAN システムをご使用にならないでください。心臓ペースメーカーや医療機器に影響を与え、最悪の場合、生命に危険を及ぼす恐れがあります。
 - 電子レンジの近くで本製品を使用すると無線 LAN の通信に影響を及ぼすことがあります。

もくじ

安全にお使いいただくために	4
---------------	---

Chapter 1 概要編 9

1 製品の保証について	10
2 サポートサービスについて	11
3 本製品の概要について	12
本製品の特長	12
本製品の動作環境	13
4 各部の名称ととはらしき	14
5 設定ユーティリティについて	15
6 セットアップを始める前に	16
接続事業者との契約状況を確認する	16
ブロードバンドモデムのタイプについて	17
設定に必要なプロバイダー情報を用意する	17

Chapter 2 導入編 19

1 セットアップの流れ	20
ホテルで使用する場合	20
ご自宅で使用する場合	21
2 セットアップを始める前に	22
本製品を接続する	22
3 インターネット接続のための設定	24
インターネット接続のタイプについて	24
設定ユーティリティを表示する	26
4 無線LANで接続する	28
はじめにご確認ください	28
WPS ボタンを使って接続する	29
PIN コードを入力して接続する	31
手動設定で接続する	33
iOS 搭載機器 (iPhone/iPad/iPod touch) を接続する	35
Android スマートフォン/ タブレットを接続する	38
5 無線子機 (コンバーター) モードを使う	41
無線子機 (コンバーター) モードの設定方法	41
無線親機にWPS ボタンがついていない場合の 接続方法	42
6 中継器 (リピーター) モードを使う	46
中継器 (リピーター) モードの設定方法	46
無線親機にWPS ボタンがついていない場合の 接続方法	47

Chapter 3 詳細設定編 51

1 設定ユーティリティ画面について	52
設定ユーティリティ画面を表示する	52
設定ユーティリティ画面の内容	53
2 接続ウィザード	54
3 動作モード選択	55
4 無線設定	56
基本設定画面	56
詳細設定画面	58
アクセスコントロール画面	59
WPS 機能の設定	61
5 セキュリティを設定する (暗号化設定)	62
WEP の設定	63
WPA-PSK/WPA2-PSK の設定	66
6 インターネット設定	69
LAN 設定画面	69
固定 DHCP 設定画面	71
WAN 設定画面	73
7 システム設定	77
ステータス画面	77
ファームウェア更新画面	79
設定保存と復元画面	80
パスワード設定画面	82

Appendix 付録編 83

1 こんなときは	84
自宅でメインルーターとして使う (DHCP、PPPoE 回線での設定例)	84
無線 LAN 関係のトラブル	85
共通のトラブル	87
2 パソコンの IP アドレスの確認方法	88
パソコンの IP アドレスを表示する	88
3 主な仕様と工場出荷時の設定	92

Chapter 1

.....

概要編

1

製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品の保証規定については、付属の「設定手順書②」をご覧ください。

お買い上げ時のレシートもしくは保証シールを、「設定手順書②」の該当欄に貼り付けて保管してください。

●保証期間

保証期間はご購入の日より1年間です。保証期間を過ぎた修理は有料になります。

詳細については本製品のパッケージに記載されている保証規定をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、ご購入の販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、本製品のパッケージに記載されている保証規定をお確かめください。

●その他の質問などに関して

P11「2. サポートサービスについて」をお読みください。

2

サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。



エレコムネットワークサポート(ナビダイヤル)

TEL : 0570-050-060

受付時間：月曜日～土曜日 10:00 ～ 19:00 (祝日営業)

※2016年10月1日より年中無休

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行なっておりません。

This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に

お問合せの前に以下の内容をご用意ください。

- ・ 弊社製品の型番
- ・ インターネットに関するプロバイダー契約の書類
- ・ ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)

※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

3

本製品の概要について

本製品の特長

●IEEE802.11n/g/b に準拠した超小型無線 LAN ルーター

11n 規格対応、最大 300Mbps (理論値) の無線通信に加え、100Mbps・1 ポート ETHERNET コネクタを搭載しています。

●付属の AC アダプターから電源供給 (WRH-300xx3 シリーズ)

付属の AC アダプターから安定した給電ができます。

●付属の USB ケーブルから電源供給 (WRH-300xx3-S シリーズ)

付属の microUSB (microB-A) ケーブル+別売の電源供給アダプターから電源を給電することができます。

●無線親機に接続するための簡単設定アプリ「QR link」(無料)をご用意

無線親機に接続するための専用設定アプリ「QR link」をご用意。

(AppStore (iOS) または GooglePlay (Android) ダウンロードする必要があります)

専用アプリを使用することで、簡単にスマートフォンやタブレットと Wi-Fi 接続することができます。

※ iOS 端末は、iOS7.0 以降かつカメラ付きモデルに対応。Android 端末は、Ver.2.3 以降かつカメラ付きモデルに対応。(オートフォーカス機能のあるカメラ搭載端末を推奨します。) ※2016年9月現在

●ボタンひとつで設定完了、WPS 機能に対応した無線 LAN 設定方式を採用

面倒な暗号化の設定を意識することなく、簡単に無線 LAN 接続を設定できる「WPS」機能に対応しています。本製品 WPS ボタンまたは設定ユーティリティ画面上の WPS 実行ボタンを押すことで、セキュリティ設定済みの無線 LAN 接続を簡単に完了できます。

●各種無線セキュリティ機能に対応

新しい規格である WPA-PSK/WPA2-PSK に対応しています。WPA では、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更しますので、外部からの不正解読が困難になっています。また、発信する SSID を無線クライアント側で表示されないようにする SSID ステルス機能、無線クライアントの MAC アドレスを指定してアクセスを制限するアクセスコントロール機能などを搭載しています。

●子機(コンバーター)モードと中継器(リピーター)モードを搭載

本製品を接続することで、有線 LAN ポートを持つネットワーク機器を無線化することができます「子機モード」と、本製品を中継器として使用することで、電波の届きにくい場所でも無線電波を中継して通信範囲をより広く使用することができる「中継器モード」を搭載しています。

●Web ブラウザーベースの設定ユーティリティを搭載

本製品の設定は、クライアントパソコンのWeb ブラウザー上から、本体に内蔵されたWeb ベースの設定ユーティリティを起動しておこないます。Web ブラウザーからの解りやすいメニューで操作できます。

●その他多彩なルーター機能を装備

- ・「DHCP サーバー機能」を搭載し、パソコン側のIP アドレス設定などが不要
- ・ファームウェアを簡単にバージョンアップ可能
- ・設定内容のバックアップ/復元が可能

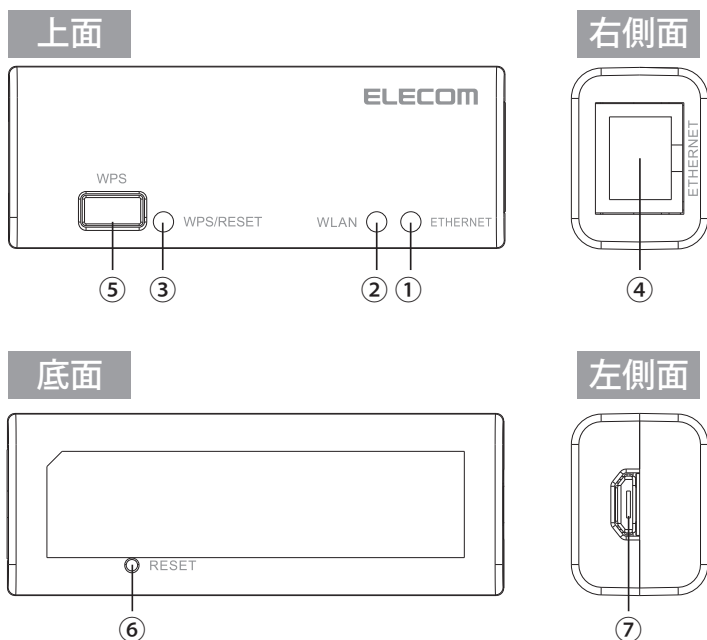
本製品の動作環境

弊社では以下の環境のみサポートしています。

対応機種およびOS	Windows 10/8.1/8/7/Vista/XP を搭載するWindows マシン Mac OS X (10.11/10.10/10.9/10.8/10.7/10.6) をインストールした Intel 製CPU を搭載したMac
対応ブラウザ (Web 設定ユーティリティ)	Internet Explorer 5.5 以降 Safari 6.0.3以降

4

各部の名称とはたらき



番号	名称	はたらき
①	ETHERNET ランプ (緑色)	消灯：有線未接続 点灯：有線接続中 点滅：データ転送中
②	WLAN ランプ(緑色)	点滅：無線が有効です。
③	WPS/RESET ランプ (緑色)	点滅：WPS 機能が動作中 点灯：リセット機能が起動
④	ETHERNET ポート	本製品とホテルの LAN 端子を LAN ケーブルで接続します。
⑤	WPS ボタン	約 3 秒押すと、WPS 機能が起動
⑥	RESET ボタン	約 5 秒押すと、リセット機能が起動
⑦	USB コネクター (電源用)	給電専用 USB micro-B コネクターです。 同梱の USB (microB-A) ケーブルを接続します。

5

設定ユーティリティについて

本製品の各種設定をするために、Web ブラウザーから利用できる設定ユーティリティがあります。ここでは設定ユーティリティのメニュー項目の構成について説明します。各メニュー項目の詳しい内容や設定方法については、該当ページをお読みください。

MEMO

設定ユーティリティを使用するには

設定ユーティリティをパソコンのWeb ブラウザーで表示するには、本製品とパソコンを無線LAN で接続する必要があります。

設定ユーティリティの表示方法

P52「設定ユーティリティ画面を表示する」をお読みください。

ELECOM		ルーターモードで動作中
WRH-300XX3シリーズ		ステータス
設定メニュー		本製品のシステム情報を表示します。
▶ 接続ウィザード ▶ 動作モード選択 ▶ 無線設定 ▶ インターネット設定 ▶ システム設定		
言語設定		
日本語 ▼		
		システム
		稼働時間 0day 1h 22m:54s
		ファームウェアバージョン v1.02
		動作モード ルーターモード
		WAN設定
		IPアドレス 192.168.5.155
		サブネットマスク 255.255.255.0
		デフォルトゲートウェイ 192.168.5.1
		MACアドレス bc:5c:4c:50:dd:94
		LAN設定
		IPアドレス 192.168.2.1
		サブネットマスク 255.255.255.0
		DHCPサーバー 有効
		MACアドレス bc:5c:4c:50:dd:95
		無線設定 (1st SSID)
		SSID elecom2g-50dd94
		チャンネル 1ch
		暗号化 WPA2 Mixed
		BSSID bc:5c:4c:50:dd:95
		接続端末台数 2

メニュー項目	内容
接続ウィザード	インターネット接続設定を簡単に行うことができるウィザードです。(→P54)
動作モード選択	本製品の動作モードを設定します。(→P55)
無線設定	無線LANに関する、さまざまな設定をするメニューです。基本設定(→P56)、詳細設定(→P58)、暗号化設定(→P62)、アクセスコントロール(→P59)、WPS設定(→P61)があります。
インターネット設定	インターネット接続に関する設定をするメニューです。LAN設定(→P69)、WAN設定(→P73)があります。
システム設定	本製品を管理するためのメニューです。ステータス(→P77)、ファームウェア更新(→P79)、設定保存と復元(→P80)、パスワード設定(→P82)があります。
言語設定	設定ユーティリティ画面の表示言語を切り替えます。

6

セットアップを始める前に

本製品のセットアップ作業を始める前に、以下について確認します。
これらの確認事項は、本製品をご自宅で使用する場合に必要な項目です。
ホテルでのご利用時は以下の項目の確認は不要です。

接続事業者との契約状況を確認する

次の内容を確認してください。

①回線事業者/プロバイダーと契約は完了していますか？

回線事業者やプロバイダーとの契約を完了しておく必要があります。また、フレッツサービスの場合はNTT とのご契約とは別にプロバイダーとの契約が必要です。

②モデムなどの機器は準備できていますか？

本製品でインターネットを楽しむためには、ADSL/CATV/ 光ファイバーなどのブロードバンドモデムと本製品を接続する必要があります。モデムを別途購入されるように契約している場合は、対応モデムをご用意いただく必要があります。

③回線工事は完了していますか？

回線事業者/プロバイダーとの契約に加え、屋内までの配線工事とモデムの準備が完了している必要があります。すでに開通日を過ぎていることを確認してください。

④パソコン側の必要な機器は準備できていますか？

本製品の設定および本製品と接続するネットワーク機器には、IEEE802.11n/11g/11b いずれかの無線 LAN 機能が搭載されている必要があります。パソコン本体などに無線 LAN 機能が内蔵されていない場合は、別途無線子機を準備してください。各機器のセットアップ方法については、それぞれのマニュアルをお読みください。

ブロードバンドモデムのタイプについて

本製品は、ルーター機能に無線LAN機能を搭載した無線LANルーターです。現在、プロバイダーから提供されるブロードバンドモデムや終端装置には、すでにルーター機能が内蔵されている製品があります。ルーター機能内蔵のブロードバンドモデムや終端装置に本製品を接続する場合は、本製品のモードをアクセスポイントモードに設定してお使いいただけます。

設定に必要なプロバイダー情報を用意する

本製品ルーターモードでご使用になる場合は、あらかじめ回線の種別などを調べておく必要があります。

特に、NTT フレッツサービスなど PPPoE 接続を使用している場合は、プロバイダーから提供されるユーザーID とパスワードが必要になることがあります。また、固定IP サービスなど特別なインターネットサービスをご利用の場合は、あらかじめ必要な情報をご用意ください。

MEMO

アクセスポイントモードでご使用の場合

終端装置に搭載されたルーター機能を使用しているため、本製品をアクセスポイントモードで利用する場合は、P55「動作モード選択」をお読みください。

プロバイダーの情報について

ご契約のプロバイダーによっては、ここに説明した内容と異なる場合もあります。プロバイダー側の設定資料を参考に、本製品のインターネット接続の設定をしてください。

A PPPoE 接続方式の場合

NTT フレッツサービスなど「PPPoE 接続」でインターネットに接続するプロバイダーの場合は、ユーザーID とパスワードが記載された資料がお手元に届いているはずです。記入欄にメモしてください。

項目	記入欄
接続方式	PPPoE
認証ID(ユーザー名)【接続ID】	
認証パスワード【接続パスワード】	

※プロバイダーによって認証ID、認証パスワードの表記が異なることがあります。ユーザーID に「@」が入っている場合は、プロバイダーから提供された「ユーザー名」の後ろに、「@」と「プロバイダー識別子」を入力する必要があります。また、PPPoE 接続でも、認証ID、認証パスワードが記述されておらず、入力が不要な場合があります。

MEMO

フレッツ光プレミアムなど、別途ルーター機能が用意されている場合

プロバイダーから提供されている「CTU」などの機器に、ユーザーID、パスワードを設定します。本製品側での設定は不要です。

B DHCP 接続方式の場合

DHCP 接続を使用している場合は、自動的にインターネットへの接続を開始します。インターネット回線種別を意識したり、設定作業をおこなうことなく自動的に接続します。

C プロバイダーから固定IPアドレスが提供されている固定IP方式の場合

インターネット側のIP アドレス(グローバルIP アドレス)が固定で割り当てられるサービスです。次の内容をお調べのうえ、記入欄にメモしてください。

項目	記入欄
WAN 側IP アドレス※1	
WAN 側サブネットマスク	
WAN 側ゲートウェイ	
DNS サーバーアドレス	プライマリ DNS
	セカンダリ DNS

※1 グローバルIP アドレスです。

Chapter 2

導入編

本製品の導入方法について

本製品をモデムなどにつなぐ手順や、インターネットに接続する手順については、本製品に付属の「設定手順書①」などに、わかりやすい説明があります。

「設定手順書①」が見つからない場合は、エレコムホームページからもダウンロードできます。

1

セットアップの流れ

ホテルで使用する場合

ホテルの有線 LAN との接続

ホテルの客室にある LAN 端子と、本製品の ETHERNET ポートを、ホテルに設置されている LAN ケーブルで接続します。

電源の接続

付属の AC アダプター または microUSB (microB-A) ケーブル + 別売の電源供給アダプターから電源を給電します。

パソコンまたは無線子機の接続

各機器に応じた接続設定を行います。
iPhone/iPad/iPod touch (iOS 7.0 以上でカメラ付きモデル) や Android 搭載スマートフォン / タブレットの設定には、専用アプリ「QR link」が使用できます。

これで設定は完了です。

※ 1 無線子機側の設定については、無線子機の説明書をお読みください。



注意

アクセスポイントモード時に同一ネットワーク内へ本機種を複数台設置する場合、各機の IP アドレスを重複しないように固定 IP アドレスに設定してから設置してください。正しく管理画面にアクセスすることができなくなります。
IP アドレスの固定方法は P69 「LAN 設定画面」を参照ください。

ご自宅で使用する場合

無線LANで接続するパソコンまたは無線子機で使う

プロバイダー情報の準備

回線の種別の情報やNTT フレッツサービスなどPPPoE接続を利用しているプロバイダーや固定IP接続をご使用になる場合は、プロバイダーからのユーザーID等の情報が必要になります。あらかじめ送付された情報を準備しておきます。

本製品の接続

本製品をブロードバンドモデム、パソコンなどと接続します。

無線LAN接続の設定

WPS機能に対応する場合

WPS機能を使って設定します。設定ボタンを押すだけです。※

WPS機能に対応しない場合

無線アダプター側に、SSIDやセキュリティなどを手動で設定します。※

本製品の動作モードの変更

特に変更の必要がない場合は「ルーターモードで使用する場合」に進んでください。
APモードでご利用になる場合は設定ユーティリティからモード変更を行ってください。

本製品をルーターモードで使用する場合

本製品をアクセスポイントモードで使用する場合

インターネット接続のための設定

設定ユーティリティを起動して、インターネットへ接続できるように設定し、接続を確認します。
PPPoE接続（NTT フレッツサービスなど）や固定IP接続の場合は、プロバイダーからの情報の入力が必要です。

無線LANでのインターネット接続の確認

本製品に接続する無線子機からホームページなどに接続できることを確認します。

これで設定は完了です。

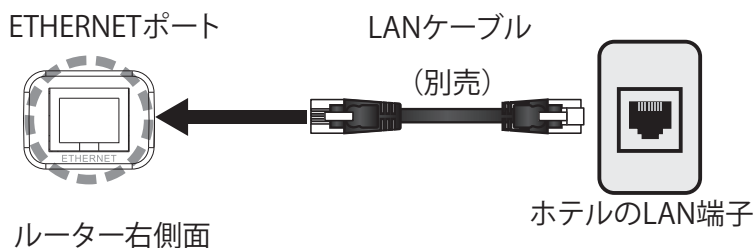
※無線子機側の設定については、無線子機の説明書をお読みください。

2 セットアップを始める前に

ここではホテルで本製品を使って、インターネットに接続するための準備を説明します。

本製品を接続する

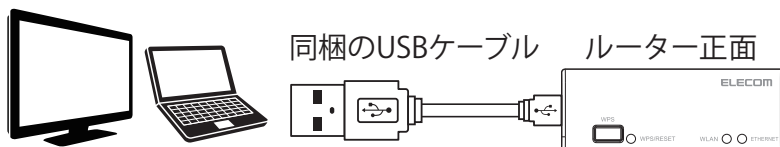
- 1 別売、またはホテルに設置されているLAN ケーブルを、ホテルの客室にあるLAN 端子と本製品のETHERNETポートに接続します。



※ご自宅で使用する場合は、インターネットに接続されたご自宅のブロードバンドモデムと接続してください。

- 2 以下のいずれかの方法で電源を取ります。

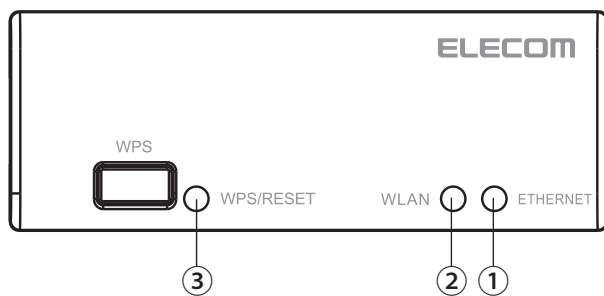
- 付属のACアダプターで給電
- パソコンのUSBポート+同梱のUSB (microB-A) ケーブルで給電



●別売のUSB 給電アダプター+同梱のUSB (microB-A) ケーブルで給電



3 本製品のランプの状態が次のようになっていることを確認します。



①	ETHERNET ランプ	緑色点灯あるいは緑色点滅
②	WLAN ランプ	緑色点灯あるいは緑色点滅
③	WPS/RESET ランプ	消灯

※電源を入れてから本状態になるまでに約30秒程掛かります。

3

インターネット接続のための設定

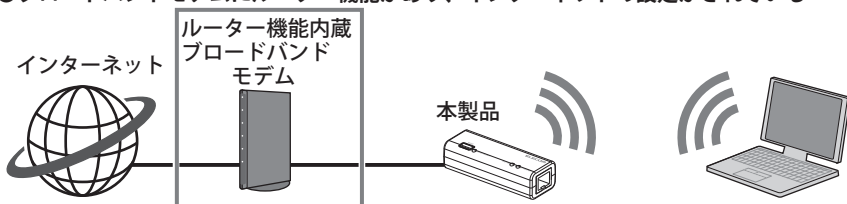
ここではご自宅で本製品を使ってインターネットに接続するまでの手順を説明します。
ホテルで使用する場合、このセットアップは不要です。

インターネット接続のタイプについて

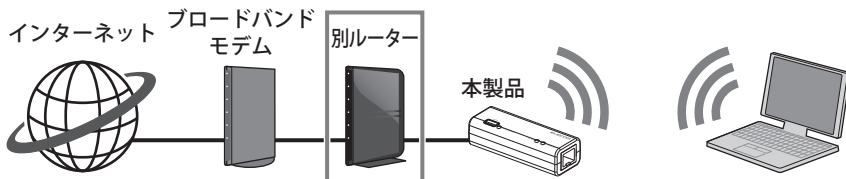
本製品を使用する前にインターネット接続のタイプを確認します。インターネットの接続設定のタイプによっては、本製品でインターネット接続の設定が不要場合があります。無線子機(無線アダプター)との設定は、WPS 機能を使って自動接続ができます。無線子機からの無線接続については、P28「4 無線LAN で接続する」で説明しています。

インターネット接続のための設定が不要な場合

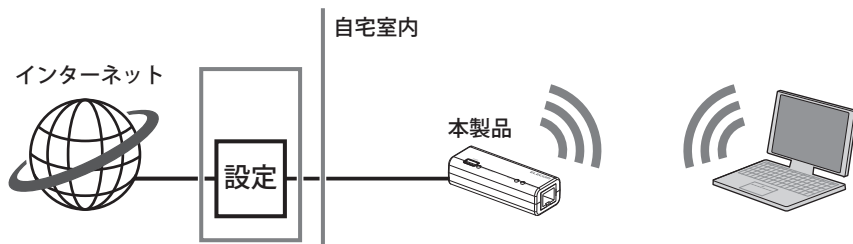
- ブロードバンドモデムにルーター機能があり、インターネットの設定がされている



- 別のルーターがあり、そのルーターにインターネットの設定がされている



●マンションのサービスで、インターネット設定がされている



本製品ではインターネットへの接続設定は必要ありません。P28「4. 無線LANで接続する」へ進みます。

インターネット接続のための設定が必要な場合

ご自宅のインターネット接続のタイプが次の場合やお買い上げの状態でインターネットへの接続がうまくいかない場合は、インターネットへの接続設定を行う必要があります。

P73「WAN設定画面」

インターネットへの接続作業が完了したら、P28「4. 無線LANで接続する」へ進みます。

本製品の設定のために有線LANで接続していたパソコンを、無線LANで接続するようにする場合は、LAN ケーブルを取り外し、パソコンの無線LAN 機能が使用できるように準備しておいてください。

設定ユーティリティを表示する

本製品の設定ユーティリティは、パソコンからWeb ブラウザーを使って表示します。

MEMO

パソコンはIP アドレスが自動取得になっている必要があります

このマニュアルでは、本製品のDHCP サーバー機能により、パソコンがIP アドレスを自動取得することを前提に説明しています。パソコンに固定のIP アドレスを設定している場合は、パソコンのIP アドレスを変更しなければならないことがあります。

本製品のIP アドレス(初期値) = 192.168.2.1

1 ブロードバンドモデムと本製品の電源が入っていることを確認してから、設定用のパソコンを起動します。

- ・順序が逆の場合、パソコン側がIP アドレスを正常に取得できず、設定画面にアクセスできないことがあります。

※ P28「4.無線LANで接続する」以降を参照して、無線接続を行っておく必要があります

2 Internet Explorer などのWeb ブラウザーを起動します。

3 Web ブラウザーの[アドレス]欄に、キーボードから「http://wrh-300xx3.setup」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。



- ・認証画面が表示されます。

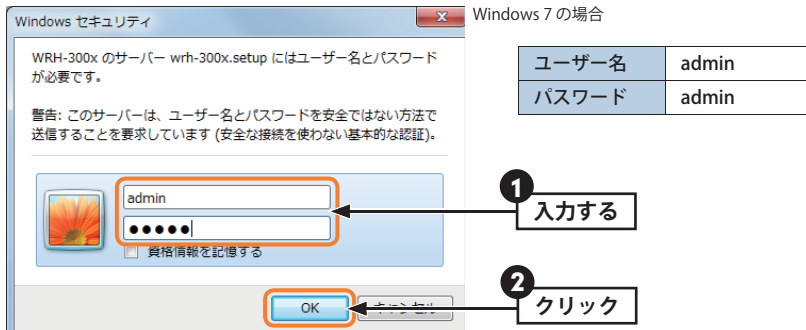
MEMO

認証画面が表示されない場合

以下の順序で確認してみてください。

- ① 本製品の電源が入っているか、無線LANの接続は正しいかを確認してください。
- ② いったんパソコンを終了し、本製品の電源を入れて3分以上たってからパソコンの電源を入れてください。
- ③ 接続しているパソコンのIP アドレスを確認してください(→ P88「パソコンのIP アドレスを表示する」)

4 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。



- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。
- 本製品の設定ユーティリティが表示されます。

MEMO

不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします (→P82 「パスワード設定画面」)。

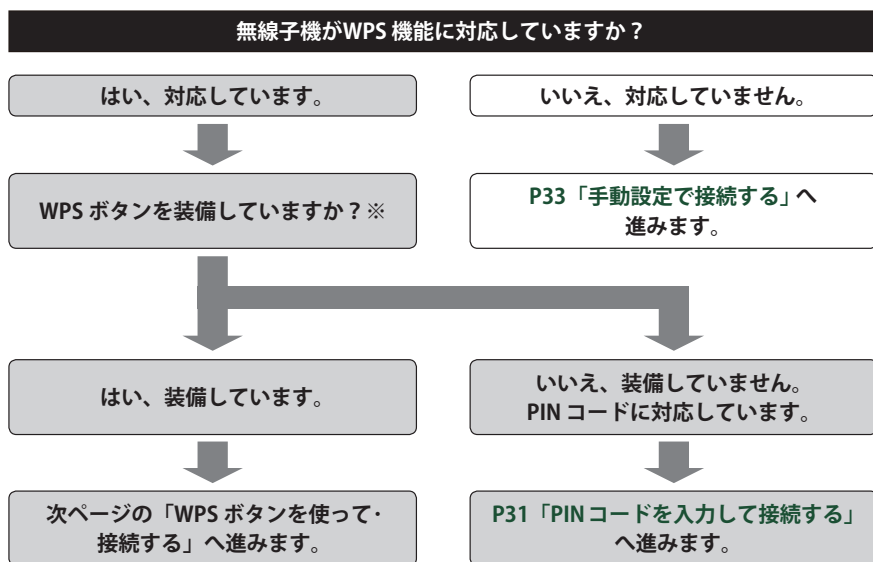
4 無線 LAN で接続する

パソコンの無線子機（無線アダプターなど）から本製品を経由してインターネットに接続できるようにします。

はじめにご確認ください

本製品はWPS 機能に対応しています。WPS 機能に対応する無線子機との組み合わせで簡単に無線 LAN 機能を設定できます。ボタンを押すだけで設定ができる「プッシュボタン方式」と、用意された数字を入力するだけで設定できる「PIN コード方式」の両方に対応しています。

WPS 機能に対応していない無線子機から本製品に接続するときは、本製品の設定値を無線子機側に設定することで接続することができます。



※ WPS ボタンについて

WPS の「プッシュボタン方式」は、無線子機本体に装備されている「WPS ボタン」を押して設定するタイプと、設定ユーティリティ上にある「WPS ボタン」アイコンをクリックして設定するタイプがあります。

WPS ボタンを使って接続する

- 1 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。
- 2 無線子機の説明書をお読みになり、無線子機側が「WPS」設定をできるように準備します。



- 3 本製品の「WPS ボタン」を3秒以上押して、離します。
 - WPS/RESET ランプが点滅し、WPS 対応の無線子機の接続を待つ状態になります。WPS/RESET ランプの点滅中に接続を完了する必要があります。

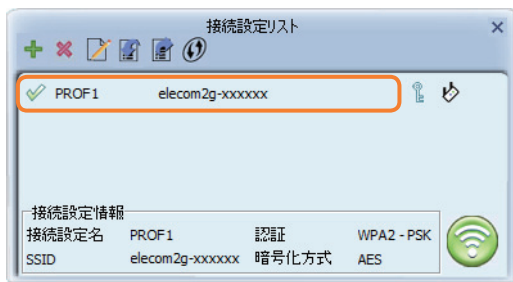
MEMO

接続が完了するか、一定時間(約2分間)がすぎるとWPS/RESET ランプは消灯します。

4 無線子機側のWPS用の「設定ボタン」を指定された時間だけ押します。

- ・弊社製のWPS対応製品の場合は、本体の「設定ボタン」を1秒以上押して、離します。本体に設定ボタンがないモデルでは、ユーティリティの[WPS]ボタンをクリックします。

5 無線子機側の設定ユーティリティで、本製品に接続できたことを確認します。



エレコム製無線子機の画面例

- ・本製品のWPSランプは消灯します。

6 Web ブラウザーからお好みのホームページに接続し、正常に表示されることを確認します。



エレコム Web サイト <http://www.elecom.co.jp/>

7 これでWPS機能を使った無線子機の設定は完了です。無線子機が他にもある場合は、同じ手順で設定します。

PIN コードを入力して接続する

WPS 機能の PIN コード方式で設定します。無線ルーター側に設定された PIN コードを無線子機に入力する方法と、無線子機側に設定された PIN コードを無線ルーターに入力する方法があります。ここでは無線ルーター側に設定された PIN コードを無線子機に入力する場合の操作の流れを説明します。

MEMO

無線子機側の PIN コードを本製品に入力する場合

P61「WPS 機能の設定」をお読みになり、[無線端末の PIN コード入力]に、無線子機側の PIN コードを入力し、実行してください。

- 1 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。
- 2 本製品の設定ユーティリティを表示します。
 - 設定ユーティリティの表示方法については、P52「設定ユーティリティを表示する」を参照してください。
- 3 設定ユーティリティで画面左のメニューリストから[無線設定]→[WPS 設定]を選択して、〈WPS 設定〉画面を表示します。
- 4 「本製品の PIN コード」をメモします。

WPS設定

WPSを使用することで、簡単に無線端末と接続ができます。

☐ WPSの無効

適用

本製品のPINコード:

99956042

PBC方式で接続:

実行

無線端末のPINコード入力:

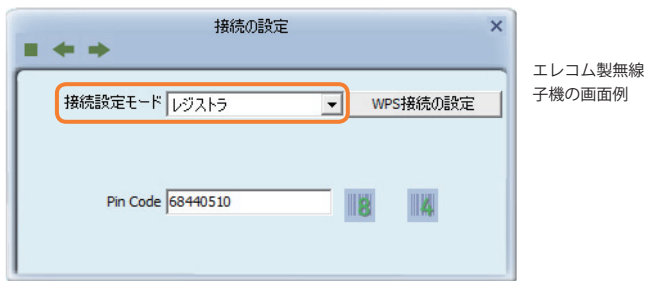
実行

現在の暗号キー情報:

認証	暗号化	暗号キー
WPA2-Mixed PSK	TKIP+AES	1234567890123

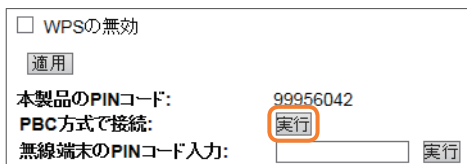
本製品の PIN コード

- 5** 無線子機の説明書をお読みになり、無線子機のPINコードの[接続設定モード]を「レジストラ」に設定してから、本製品のPINコードを無線子機側に入力します(※)



※実際の無線子機によって項目名などが異なります。ご使用になる無線子機の説明書をお読みください。

- 6** 本製品の設定ユーティリティの〈WPS 設定〉画面で、[PBC 方式で接続]の **実行** をクリックします。



- 7** 無線子機側でPINコードの受信を実行します。



- 8** 設定後、無線LAN経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

手動設定で接続する

WPS 機能を持たない無線子機の場合は、無線子機側の設定ツールを使って、必要な設定を手動でおこないます。本製品の初期値の設定は以下の通りです。無線子機の説明書と、次ページからの作業の流れを参考にして、本製品の設定値を無線子機側に設定してください。

項目		本製品の設定値(初期値)								
SSID		elecom2g-xxxxxx ※ xxxxxx は、0～9、a～f のランダムな英数字です。								
認証方式	WPA2-Mixed	無線子機側は「WPA2-PSK」を選択します。								
暗号化方式	AES	無線子機側は「AES」を指定します。								
WPA ユニキャスト 暗号スイート		WPA2-PSK								
共有キー フォーマット		パスフレーズ								
暗号キー		本製品に付属の設定情報シートをご覧ください。使用されている文字は半角英数字の大文字です。 ●設定情報シート 設定情報シート（初期値） <table border="1"> <tr> <td>2.4GHz SSID</td><td>elecom2g-xxxxxx</td><td>設定用 QR コード</td></tr> <tr> <td>暗号化方式</td><td>WPA/WPA2 mixed</td><td rowspan="2">  </td></tr> <tr> <td>暗号キー</td><td>YYYYYYYYYYYYYY</td></tr> </table> ※「xxxxxx」には、6桁の0～9、a～fのランダムな英数字が入ります。 ※「YYYYYYYYYYYYYY」には、13桁のランダムな数字が入ります。 ※出荷時期によっては、実際の設定情報シートがイラストと異なる場合があります。 PASS 記入欄	2.4GHz SSID	elecom2g-xxxxxx	設定用 QR コード	暗号化方式	WPA/WPA2 mixed		暗号キー	YYYYYYYYYYYYYY
2.4GHz SSID	elecom2g-xxxxxx	設定用 QR コード								
暗号化方式	WPA/WPA2 mixed									
暗号キー	YYYYYYYYYYYYYY									

MEMO

上記の本製品の初期値にあわせ、設定情報シート上の暗号キーを利用する場合は、本製品の設定ユーティリティを表示せずに、無線子機側の設定をおこなうだけで本製品に接続することができます。

- 1** 無線で接続するパソコンを、本製品と確実に通信できる場所に用意します。
- 2** 無線子機の設定ユーティリティを起動します。
- 3** 設定ユーティリティのリストのSSID に「elecom2g-xxxxxx」と表示された場合は選択します。
 - xxxxxx は、0 ～ 9、a ～ f のランダムな英数字です。
 - SSID を自動的に検出できない場合は、手動で無線子機の設定ユーティリティにある「SSID」に、本製品のSSID の設定値 (例：elecom2g-xxxxxx) を半角英数字 (小文字) で入力します。
- 4** 本製品はセキュリティ機能として暗号化機能 (WPA2-PSK/AES/ パスフレーズ13 文字) があらかじめ設定済みです。無線子機の設定ユーティリティにある [暗号化] に関する設定画面を表示します。
- 5** 無線子機の説明書をお読みになり、本製品の設定内容を無線子機側に設定します。
- 6** 設定後、無線 LAN 経由でインターネットにアクセスするなどして、接続できていることを確認してください。

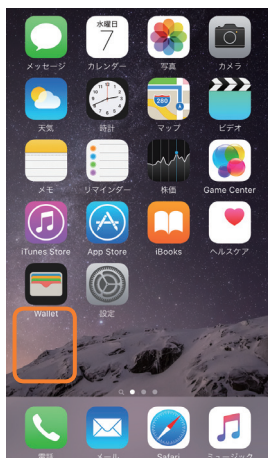
iOS 搭載機器 (iPhone/iPad/iPod touch) を接続する

iOS 7.0 以降のカメラ付きモデルでは、「App Store」から専用アプリ「QR link」をダウンロードして、かんたんに接続することができます。詳しくは、付属の「設定手順書①」をご覧ください。

電波干渉を避けるため、Bluetooth 機能をオフにすることを推奨します。

専用アプリで設定できなかった場合は、以下のように手動で Wi-Fi 設定してください。

1 メインメニューの[設定]をタップします。



※画面は iPhone 6 の例です。

2 設定メニューの[Wi-Fi]をタップします。



- 3** リストから、同梱の「設定情報シート」内に記載されたものと同じ SSID を選択し、タップします。



Wi-Fi がオフのときは、
タップしてオンにします。

※ xxxxxx には、0～9、a～f のランダムな半角英数字が
組み合わされて表示されます。



注意

elecom2g-xxxxxx が複数見つかった場合

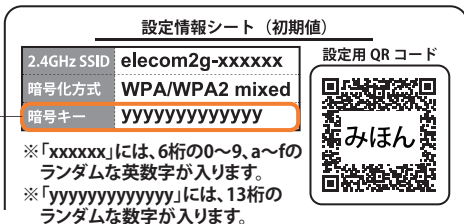
近隣に同じ SSID の無線親機があります。電波の強いほうを選んでください。

※通信が安定しない場合は、SSID の変更をお勧めします。

- 4** 本製品のパスワードを入力し、**Join** をタップします。



●設定情報シート



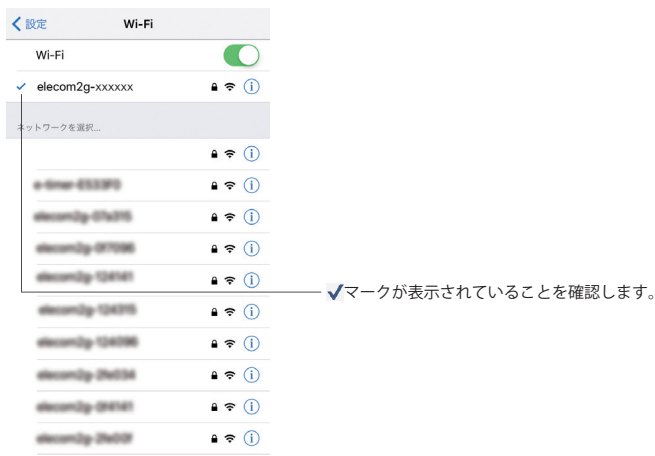
※「xxxxxx」には、6桁の0～9、a～fの
ランダムな英数字が入ります。

※「yyyyyyyyyyyyyy」には、13桁の
ランダムな数字が入ります。

- パスワード (暗号キー) は、「設定情報シート」に表示された
13 桁のランダムな数字です。

※英字を大文字で入力するには都度、毎回このキーをタップして大文字で入力してください。

5 正しく接続できたか確認します。



注意

●無線接続に失敗した場合

手順 **4** で誤ったパスワードを入力した可能性があります。次の手順で接続をやり直してください。

- ① リストに表示された「elecom2g-xxxxxx」の右端にある[>]をタップします。
- ② [このネットワーク設定を削除]をタップします。
- ③ 手順 **3** からやり直します。

●「ネットワーク“elecom2g-xxxxxx”に接続できません。」と表示された場合

- ・ iPhone/iPad/iPod touch の電源をいったん切り、再び入れてからやり直してください。
- ・ Bluetooth 機能がオンの場合、電波干渉により Wi-Fi 接続ができないことがあります。Bluetooth 機能をオフにしてからやり直してください。

6 ホームボタンでメインメニューに戻ります。

以上で、設定は完了です。

ホテルによっては、Web ブラウザー (Safari など) による認証作業が必要な場合があります。その場合は、宿泊されているホテルへ認証方法をご確認ください。

Android スマートフォン/タブレットを接続する

Android2.3 以降のカメラ付きモデルでは、「Google Play」から専用アプリ「QR link」をダウンロードして、**かんたん**に接続することができます。詳しくは、付属の「設定手順書①」をご覧ください。

電波干渉を避けるため、Bluetooth 機能をオフにすることを推奨します。

専用アプリで設定できなかった場合は、以下のように手動でWi-Fi 設定してください。

MEMO

お使いの機種により画面の内容が異なる場合がありますが、操作方法は同様です。詳しくは各社スマートフォン/タブレットの説明書をご確認ください。

1 メニューボタンを押します。

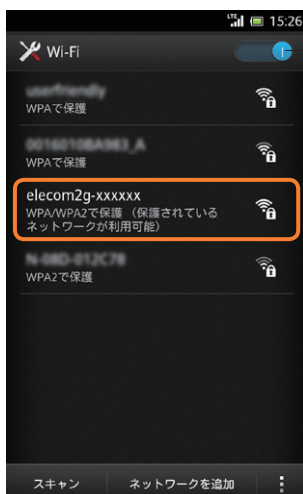
2 「設定」をタップします。



3 [無線とネットワーク]の[Wi-Fi]をタップします。



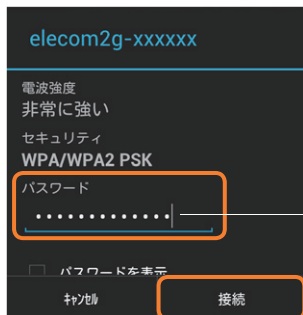
4 リストから、同梱の「設定情報シート」内に記載されたものと同じSSIDを選択し、タップします。



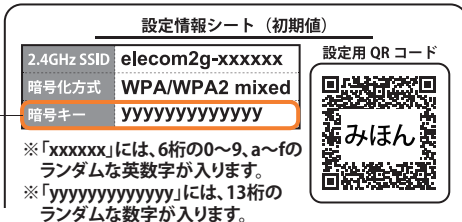
Wi-Fi がオフのときは、
タップしてオンにします。

※ xxxxxx には、0～9、a～fのランダムな半角英数字が
組み合わされて表示されます。

5 パスワードを入力して、**接続** をタップします。



●設定情報シート



- パスワード (暗号キー) は、「設定情報シート」に表示された13桁のランダムな数字です。

6 選択したネットワークに接続できていることを確認します。



画面上部に📶が表示されていることを確認します。

以上で、設定は完了です。

ホテルによっては、Web ブラウザーによる認証作業が必要な場合があります。その場合は、宿泊されているホテルへ認証方法をご確認ください。

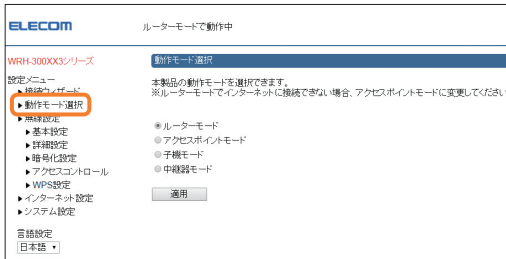
5

無線子機(コンバーター)モードを使う

無線子機(コンバーター)モードの設定方法

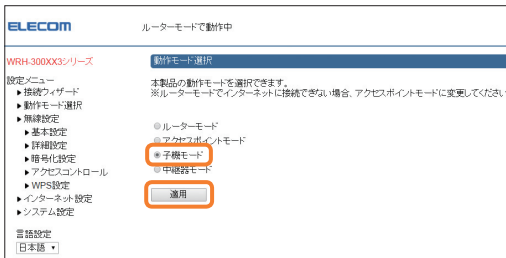
1 本紙のP52「設定ユーティリティ画面を表示する」を参照してお使いの端末から設定ユーティリティ画面へ開きます。

2 メニューから[動作モード選択]を選択します。

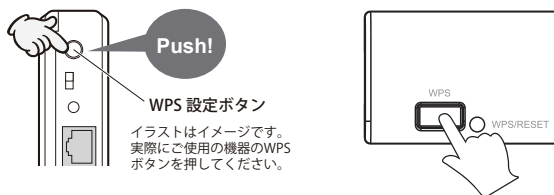


3 子機モードを選択し、[適用]ボタンをクリックしてください。

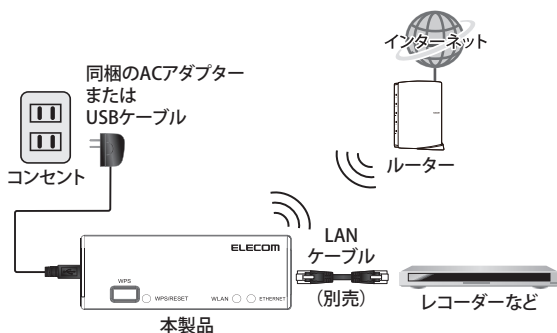
本製品が再起動します。



- 4** 再起動をしたら接続をしたいルーター（親機）のWPSボタンと本製品のWPSボタンをWPS/RESETランプが点滅するまで（3秒ほど）押してください。



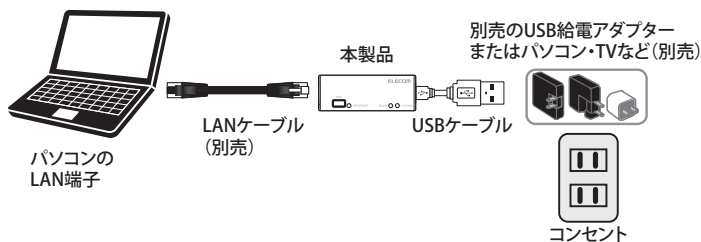
- 5** WPS/RESET ボタンの点滅が終了したら無線接続したい機器を本機のETHERNETポートに接続してください。



無線親機にWPS ボタンがない場合の接続方法

無線子機（コンバーター）モードの設定方法 **1** ～ **3** の設定を行ってから、以下の作業を行ってください。

- 1** 本機のETHERNETポートにPCをつなぐ。



- 2 Web ブラウザーの[アドレス]欄に、キーボードから「http://wrh-300xx3.setup」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。**



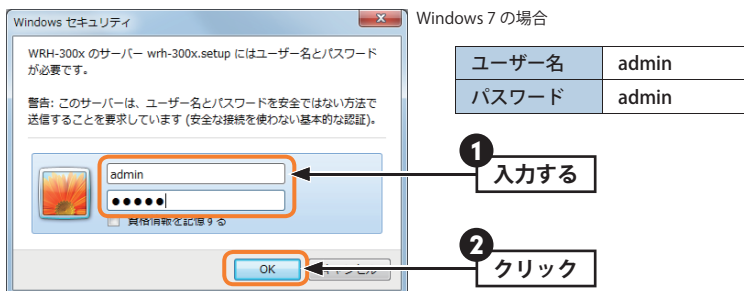
- 認証画面が表示されます。

MEMO

認証画面が表示されない場合

パソコンよりも本製品が先に起動していないと、IP アドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約3分程度待ってから、パソコンの電源を入れてください。

- 3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、OK をクリックします。**



- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。

MEMO

不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします(→ P82「パスワード設定画面」)。

- 4 [無線設定]を選ぶ。**



5 [検索] ボタンを押す。

ELECOM 子機モード動作中 親機と無線接続できていません。

WRH-300X3シリーズ 無線設定

設定メニュー
 ▶ 動作モード選択
 ▶ 無線設定
 ▶ インターネット設定
 ▶ システム設定

言語設定
 日本語 ▼

SSIDの選択: **検索**

チャンネル:
 暗号化: なし ▼

適用

6 表示されたリストから接続したいルーターのSSIDを選択し、[適用] ボタンを押します。

接続する相手先を選択してください。

選択	チャンネル	SSID	BSSID	暗号化	認証	信号モード
☐	3	elecom2g-11b	11:22:33:44:55:66	AES	WPA-PSK/WPA2-PSK	52 11b/g/n
☐	3	elecom2g-11g	11:22:33:44:55:66	WEP	OPEN	52 11b/g
☐	9	11b-11g-11n-11ac-11k	11:22:33:44:55:66	AES	WPA-PSK	48 11b/g/n
☐	9	11b-11g-11n-11ac-11k	11:22:33:44:55:66	WEP	OPEN	48 11b/g
☐	10	elecom2g-11n	11:22:33:44:55:66	AES/TKIP	WPA-PSK/WPA2-PSK	48 11b/g/n
☐	10	elecom2g-11n	11:22:33:44:55:66	AES	WPA2-PSK	48 11b/g/n
☐	12	11b-11g-11n-11ac-11k	11:22:33:44:55:66	WEP	OPEN	32 11b/g
☐	10	11b-11g-11n-11ac-11k	11:22:33:44:55:66	AES	WPA-PSK	32 11b/g
☐	11	11b-11g-11n-11ac-11k	11:22:33:44:55:66	AES		28 11b/g/n
☐	11	11b-11g-11n-11ac-11k	11:22:33:44:55:66	AES/TKIP	WPA-PSK/WPA2-PSK	24 11b/g/n
☐	7	11b-11g-11n-11ac-11k	11:22:33:44:55:66	NONE	OPEN	24 11b/g
☐	7	11b-11g-11n-11ac-11k	11:22:33:44:55:66	AES/TKIP	WPA-PSK/WPA2-PSK	24 11b/g/n
☐	2	11b-11g-11n-11ac-11k	11:22:33:44:55:66	AES	WPA-PSK/WPA2-PSK	20 11b/g/n
☐	11	11b-11g-11n-11ac-11k	11:22:33:44:55:66	AES	WPA2-PSK	16 11b/g/n
☐	6	11b-11g-11n-11ac-11k	11:22:33:44:55:66	AES	WPA2-PSK	16 11b/g/n
☐	2	11b-11g-11n-11ac-11k	11:22:33:44:55:66	WEP	OPEN	16 11b/g
☐	11	11b-11g-11n-11ac-11k	11:22:33:44:55:66	NONE	OPEN	16 11b/g/n
☐	4	elecom2g-11b	11:22:33:44:55:66	WEP	OPEN	12 11b/g
☐	4	elecom2g-11b	11:22:33:44:55:66	AES	WPA-PSK/WPA2-PSK	12 11b/g/n

更新 **適用**

7 接続したいルーターのパスワードを入力します。

ELECOM 子機モードで動作中 親機と無線接続できています。

WRH-300X3シリーズ 無線設定

設定メニュー
 ▶ 動作モード選択
 ▶ 無線設定
 ▶ インターネット設定
 ▶ システム設定

言語設定
 日本語 ▼

SSIDの選択: elecom2g-EE3DA8 **検索**

暗号化: WPA2-PSK(AES) ▼

暗号キー:

パスワードの表示: ☐

適用

8

[適用] ボタンを押し、下記画面が表示されたら[更新] ボタンを押します。接続が完了したら画面中に「親機と無線接続できています。」と表示されますのでご確認ください。その後、無線接続したい機器を本機のETHERNETポートに接続してください。

The screenshot shows the ELECOM WRH-300XX3 series settings interface. At the top, it says '子機モード動作中' (Slave mode operation) and '親機と無線接続できています。' (Connected to the parent unit wirelessly.). The main content area has a blue header 'WRH-300XX3シリーズ' and a message '設定の保存に成功しました。' (Settings saved successfully.). Below this, there is a list of settings: '設定メニュー' (Settings menu), '動作モード選択' (Operation mode selection), '無線設定' (Wireless settings), 'インターネット設定' (Internet settings), and 'システム設定' (System settings). The '無線設定' (Wireless settings) option is selected. At the bottom, there is a '言語設定' (Language settings) section with '日本語' (Japanese) selected. Two buttons are visible: '戻る' (Back) and '更新' (Update), with the '更新' button highlighted by an orange box.

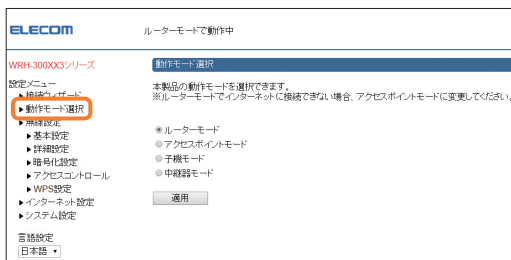
6

中継器（リピーター）モードを使う

中継器（リピーター）モードの設定方法

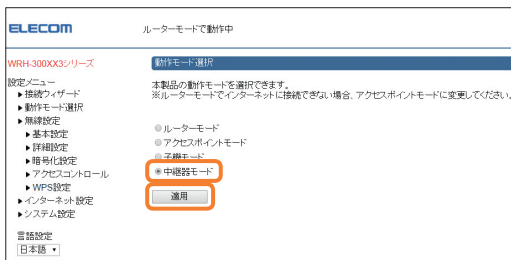
1 本紙のP52「設定ユーティリティ画面を表示する」を参照してお使いの端末から設定ユーティリティ画面へ開きます。

2 メニューから[動作モード選択]を選択します。

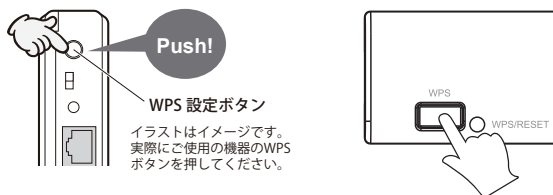


3 中継器モードを選択し、[適用]ボタンをクリックしてください。

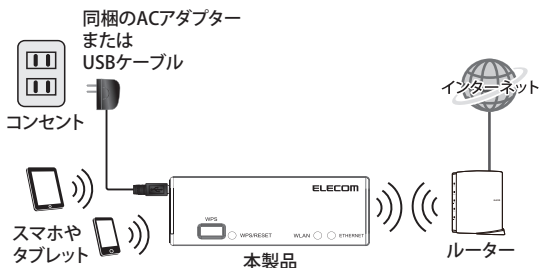
本製品が再起動します。



- 4** 再起動をしたら接続をしたいルーター（親機）のWPSボタンと本製品のWPSボタンをWPS/RESETランプが点滅するまで（3秒ほど）押してください。



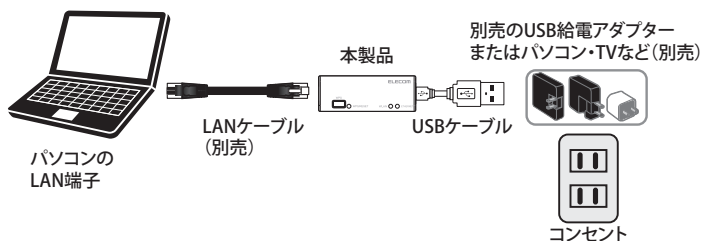
- 5** WPS/RESETボタンの点滅が終了したら、無線の電波を中継したいポイントに本製品を設置してください。



無線親機にWPSボタンがない場合の接続方法

中継器（リピーター）モードの設定方法 **1** ～ **3** の設定を行ってから、以下の作業を行ってください。

- 1** 本機のETHERNETポートにPCをつなぐ。



- 2** Web ブラウザーの[アドレス]欄に、キーボードから「http://wrh-300xx3.setup」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。



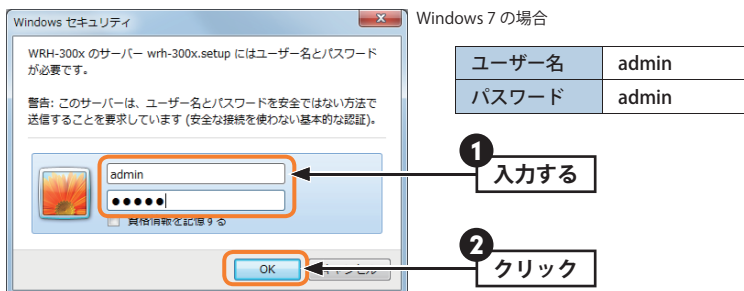
- 認証画面が表示されます。

MEMO

認証画面が表示されない場合

パソコンよりも本製品が先に起動していないと、IP アドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約3分程度待つてから、パソコンの電源を入れてください。

- 3** 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

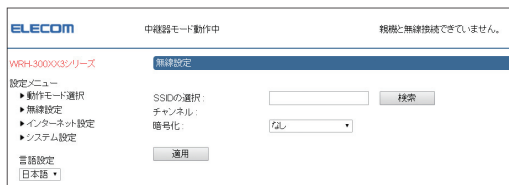


- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。

MEMO

不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします(→ P82「パスワード設定画面」)。

- 4** **[無線設定]** を選ぶ。



5 [検索] ボタンを押す。

ELECOM 中継器モード動作中 親機と無線接続できていません。

WRH-300xx3シリーズ 無線設定

設定メニュー
 ▶ 動作モード選択
 ▶ 無線設定
 ▶ インターネット設定
 ▶ システム設定

言語設定
 日本語 ▼

SSIDの選択: [] [検索]

チャンネル: 1

暗号化: なし

[適用]

6 表示されたリストから接続したいルーターのSSIDを選択し、[適用] ボタンを押します。

接続する相手先を選択してください。

選択	チャンネル	SSID	BSSID	暗号化	認証	信号モード
☐	3	elecom2g-11b	11:22:33:44:55:66	AES	WPA-PSK/WPA2-PSK	52 11b/gn
☐	3	elecom2g-11g	11:22:33:44:55:66	WEP	OPEN	52 11b/g
☐	9	11b-11g-11n-11ac	11:22:33:44:55:66	AES	WPA-PSK	48 11b/gn
☐	9	11b-11g-11n-11ac	11:22:33:44:55:66	WEP	OPEN	48 11b/g
☐	10	elecom2g-11n	11:22:33:44:55:66	AES/TKIP	WPA-PSK/WPA2-PSK	48 11b/gn
☐	10	elecom2g-11n	11:22:33:44:55:66	AES	WPA2-PSK	48 11b/gn
☐	12	11b-11g-11n-11ac	11:22:33:44:55:66	WEP	OPEN	32 11b/g
☐	10	11b-11g-11n-11ac	11:22:33:44:55:66	AES	WPA-PSK	32 11b/g
☐	11	11b-11g-11n-11ac	11:22:33:44:55:66	AES		28 11b/gn
☐	11	11b-11g-11n-11ac	11:22:33:44:55:66	AES/TKIP	WPA-PSK/WPA2-PSK	24 11b/gn
☐	7	11b-11g-11n-11ac	11:22:33:44:55:66	NONE	OPEN	24 11b/g
☐	7	11b-11g-11n-11ac	11:22:33:44:55:66	AES/TKIP	WPA-PSK/WPA2-PSK	24 11b/gn
☐	2	11b-11g-11n-11ac	11:22:33:44:55:66	AES	WPA-PSK/WPA2-PSK	20 11b/gn
☐	11	11b-11g-11n-11ac	11:22:33:44:55:66	AES	WPA2-PSK	16 11b/gn
☐	6	11b-11g-11n-11ac	11:22:33:44:55:66	AES	WPA2-PSK	16 11b/gn
☐	2	11b-11g-11n-11ac	11:22:33:44:55:66	WEP	OPEN	16 11b/g
☐	11	11b-11g-11n-11ac	11:22:33:44:55:66	NONE	OPEN	16 11b/gn
☐	4	elecom2g-11g	11:22:33:44:55:66	WEP	OPEN	12 11b/g
☐	4	elecom2g-11g	11:22:33:44:55:66	AES	WPA-PSK/WPA2-PSK	12 11b/gn

[更新] [適用]

7 接続したいルーターのパスワードを入力します。

ELECOM 中継器モードで動作中 親機と無線接続できています。

WRH-300xx3シリーズ 無線設定

設定メニュー
 ▶ 動作モード選択
 ▶ 無線設定
 ▶ インターネット設定
 ▶ システム設定

言語設定
 日本語 ▼

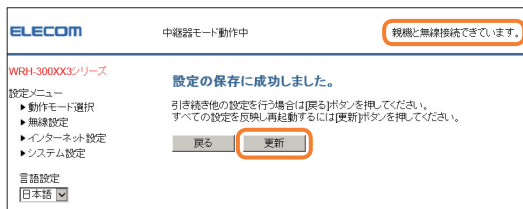
SSIDの選択: elecom2g-EE3DA8 [検索]

暗号化: WPA2-PSK(AES)

パスワードの表示: []

[適用]

- 8** [適用] ボタンを押し、下記画面が表示されたら[更新] ボタンを押します。接続が完了したら画面中に「親機と無線接続できています。」と表示されますのでご確認ください。その後、無線の電波を中継したいポイントに本製品を設置してください。



Chapter 3

詳細設定編

1

設定ユーティリティ画面について

本製品の各種機能を設定するには、パソコンからWeb ブラウザーを使って、本製品の設定ユーティリティに接続する必要があります。ここでは、簡単に本製品の設定ユーティリティに接続する方法を説明します。

あらかじめ、P22「2 セットアップを始める前に」以降を参照し、本製品とパソコンを無線 LAN 接続しておいてください。

設定ユーティリティ画面を表示する

- 1 Internet Explorer などの Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーの[アドレス]欄に、キーボードから「http://wrh-300xx3.setup」と入力し、キーボードの[Enter]キーを押します。



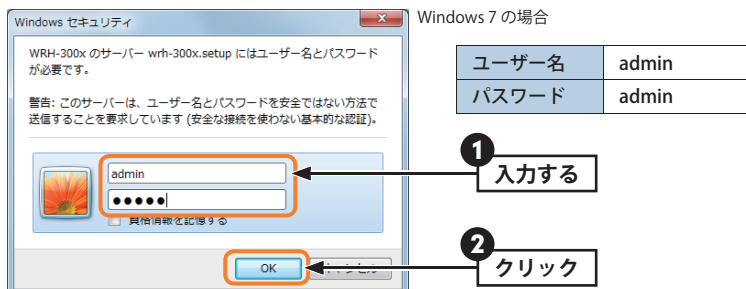
- 認証画面が表示されます。

MEMO

認証画面が表示されない場合

パソコンよりも本製品が先に起動していないと、IP アドレスが正しく取得できないため接続できないことがあります。認証画面が表示されない場合は、本製品の電源を入れて、約3分程度待つてから、パソコンの電源を入れてください。

- 3 本製品のユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。



- 初期値は表のとおりです。半角英数字の小文字で入力します。

- ・本製品の設定ユーティリティが表示されます。
- ・このあとは、必要に応じて該当の項目をお読みください。

MEMO

不特定多数の人が利用するような環境では、第三者に設定を変更されないように、パスワードの変更をお勧めします(→P82「パスワード設定画面」)。

設定ユーティリティ画面の内容

ELECOM

ルーターモードで動作中

WRH-300XX3シリーズ

ステータス

設定メニュー

▶ 接続ウィザード

▶ 動作モード選択

▶ 無線設定

▶ インターネット設定

▶ システム設定

言語設定

日本語 ▾

本製品のシステム情報を表示します。

システム

稼働時間	0day 1h 22m 54s
ファームウェアバージョン	v1.02
動作モード	ルーターモード

WAN設定

IPアドレス	192.168.5.155
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.5.1
MACアドレス	bc:5c:4c:50:dd:94

LAN設定

IPアドレス	192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
MACアドレス	bc:5c:4c:50:dd:95

無線設定 (1st SSID)

SSID	elecom2g-50dd94
チャンネル	1ch
暗号化	WPA2 Mixed
BSSID	bc:5c:4c:50:dd:95
接続端末台数	2

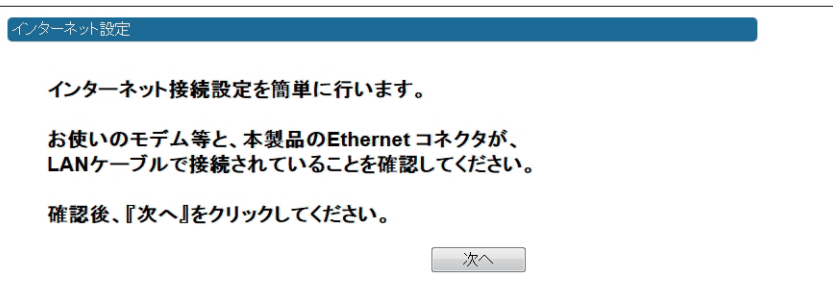
メニュー項目	内容
接続ウィザード	インターネット接続設定を簡単に行うことができるウィザードです。(→P54)
動作モード選択	本製品の動作モードを設定します。(→P55)
無線設定	無線LANに関する、さまざまな設定をするメニューです。基本設定(→P56)、詳細設定(→P58)、暗号化設定(→P62)、アクセスコントロール(→P59)、WPS設定(→P61)があります。
インターネット設定	インターネット接続に関する設定をするメニューです。LAN設定(→P69)、WAN設定(→P73)があります。
システム設定	本製品を管理するためのメニューです。ステータス(→P77)、ファームウェア更新(→P79)、設定保存と復元(→P80)、パスワード設定(→P82)があります。
言語設定	設定ユーティリティ画面の表示言語を切り替えます。

2 接続ウィザード

本製品のインターネット接続設定を簡単に行なうことができるウィザード画面です。指示に従い進んでいくことで簡単にインターネットに接続することができます。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[接続ウィザード]を選択します。



3 動作モード選択

本製品の動作モードを選択する画面です。
工場出荷時は、ルーターモードに設定されています。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[動作モード選択]を選択します。

動作モード選択

本製品の動作モードを選択できます。
※ルーターモードでインターネットに接続できない場合、アクセスポイントモードに変更してください。

- ☒ ルーターモード
- ☐ アクセスポイントモード
- ☐ 子機モード
- ☐ 中継器モード

適用

ルーターモード (初期値)	インターネットの設定を登録し、接続している端末にIPアドレスを振り、コントロールを一元管理します。
アクセスポイント モード	ルーター機能内蔵のブロードバンドモデムと終端装置に接続して、ワイヤレスネットワークを拡張したり、既存のLANに無線のアクセスポイントとして接続する場合に使用します。 インターネットの設定やコントロールは、すべて別のルーターに託します。 本製品は、出荷時はルーターモードに設定されています。
子機モード (コンバーター)	本製品を子機モードに変更することで、有線LANポートを持つネットワーク機器を無線化することができます。
中継器モード (リピーター)	本製品を中継器モードに変更することで、電波の届きにくい場所でも電波を中継して、通信範囲をより広げることができます。 また、有線LAN環境がない場所に本製品を設置することで、無線親機との距離があっても電波を中継し、クライアント端末と無線接続できるようにします。

4

無線設定

本製品の無線LAN 機能を設定します。

基本設定画面

画面の
表示

画面左のメニューリストから[無線設定]→[基本設定]を選択します。

基本設定
Wi-Fi(無線LAN)の基本設定を行います。

マルチSSID

1st SSID: (最大32文字)

チャンネル幅:

チャンネル:

SSIDステルス機能:

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●設定の内容

マルチSSID	本製品は、2つのSSIDを同時に使用することができます。SSIDごとにセキュリティレベルを変更することもできます。設定方法は、下記「マルチSSIDを設定する」をお読みください。
1st SSID	無線LANで使用するSSIDを入力します。初期値は「elecom2g-xxxxxx」（「xxxxxx」には、0～9、a～fのランダムな半角英数字が組み合わされて表示されます。）が登録されています。
チャンネル幅	11n規格でのチャンネル幅を設定します。11n対応の無線クライアントと接続する場合、「40MHz」に設定することで伝送速度を速くすることができます。ただし、他の無線LANとの干渉などによっては、伝送速度が変わらない場合もあります。（初期値：20MHz）
チャンネル	使用するチャンネルを選択します。Auto または 1～13chの中から選択します。チャンネルの異なる複数の無線機器を使用する場合は5チャンネル以上離してください。Autoを選択すると、自動でチャンネルが設定されます。（初期値：Auto） (例) 1ch/6ch/11ch
SSIDステルス機能	「無効」の場合は、無線子機側の設定ユーティリティなどから本製品に設定したSSIDを確認することができます。「有効」にした場合は、無線子機側の設定ユーティリティなどで、本製品のSSIDを表示できなくなります。不正アクセスを防ぐためや、SSIDを第三者に見せたくない場合などに「有効」にします。（初期値：無効）

マルチSSIDを設定する

マルチSSID設定
 マルチSSIDの設定を行います。

No.	有効	SSID (最大32文字)	SSIDステルス	SSIDセパレータ
2nd SSID	☒	elecom2g2nd_xxxxx	無効 ▾	無効 ▾

適用

- 1 **マルチSSID** をクリックします。
- 2 「有効」をチェックします。
- 3 SSID に2つめのSSIDとして最大32文字の任意の文字列を入力します。
- 4 必要に応じて、SSIDステルス機能とSSIDセパレータの設定を行います。
- 5 **適用** をクリックします。このあとの操作はP58「設定を変更した場合」をお読みください。

●SSIDセパレータ

「有効」にすると設定中のネットワーク名（SSID）に接続している無線LAN子機は、本商品のWAN側へのアクセスのみ可能になり、同一ネットワークの他の無線LAN子機にもアクセスできなくなります。

詳細設定画面

無線LAN の高度なオプション機能を設定できます。これらの設定には無線LAN に関する十分な知識が必要です。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[無線設定]→[詳細設定]を選択します。

詳細設定

Wi-Fi(無線LAN)の詳細設定を行います。

※本項目は、Wi-Fi(無線LAN)に関して十分な知識を持っている上級者向けです。

プライバシーセパレータ: ☐有効 ☒無効

送信出力: ☒100% ☐70% ☐50% ☐35% ☐15%

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●**詳細設定** 各項目の数値に指定可能な範囲がある場合は、数値の右側にカッコで表示しています。

プライバシーセパレータ	「有効」にすると本製品に接続している無線LAN 子機の端末同士のアクセスを禁止することができます。(初期値：無効)
送信出力	電波の出力強度を調整できます。電波が遠くまで飛びすぎる場合に、環境にあわせて強度を設定します。(初期値：100%)

アクセスコントロール画面

登録したMACアドレスを持つ無線子機とだけ無線LANで通信できるようにしたり、通信を拒否したりできます。第三者の無線子機からの不正アクセスを防止するのに役立ちます。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[無線設定]→[アクセスコントロール]を選択します。

アクセスコントロール設定

特定端末の無線接続を管理できます。

コントロールモード: なし

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大20文字)

適用

アクセスコントロールリスト:

MACアドレス	コメント	選択
選択して削除 全て削除		

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず 適用 をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は 後で再起動する を、変更した内容をすぐに有効にする場合は 今すぐ再起動する をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

コントロールモード	「なし」……………アクセスコントロール機能を使用しません。 「接続許可」………[アクセスコントロールリスト]に登録したMACアドレスを持つ無線子機だけが無線LANで接続できます。 「接続拒否」………[アクセスコントロールリスト]に登録したMACアドレスを持つ無線子機との無線LAN接続を拒否します。
MACアドレス	本製品への無線LAN接続を許可または拒否する無線子機のMACアドレスを入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録した無線子機を区別するのに便利です。

●アクセスコントロールリスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。「選択」は、登録した無線子機情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	「選択」をチェックした無線子機をリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 OK をクリックしたあと、 今すぐ再起動する をクリックします。
全て削除	リストの無線子機の設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 OK をクリックしたあと、 今すぐ再起動する をクリックします。

無線子機の登録方法

アクセスコントロール 設定
特定端末の無線接続を管理できます。

コントロールモード: **接続許可** ▼

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: × (最大20文字)

適用

アクセスコントロールリスト:

MACアドレス	コメント	選択

選択して削除 **全て削除**

- ① [コントロールモード]で「接続許可」または「接続拒否」を選択します。
- ② [MAC アドレス]に無線子機のMAC アドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 0090fe0123ab
- ③ 必要に応じて[コメント]に無線子機を区別するための名称など、コメントを入力します。
- ④ **適用** をクリックします。このあとの操作はP59「設定を変更した場合」をお読みください。
- ⑤ 登録する無線子機が複数ある場合は、①～④を繰り返します。

WPS 機能の設定

WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能の設定をします。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[無線設定]→[WPS 設定]を選択します。

WPS設定

WPSを使用することで、簡単に無線端末と接続ができます。

☐ WPSの無効

本製品のPINコード: 99956042

PBC方式で接続:

無線端末のPINコード入力:

現在の暗号キー情報:

認証	暗号化	暗号キー
WPA2-Mixed PSK	TKIP+AES	1234567890123

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●WPS 設定

WPS の無効	WPS 機能を無効にする場合にチェックします。(初期値：オフ)
本製品のPIN コード	本製品のPIN コードを表示します。
PBC 方式で接続	実行 をクリックすることで、WPS 機能を実行できます。本製品の本体に装備された「WPS 設定ボタン」を押すのと同じことです。
無線端末のPIN コード入力	本製品側で無線子機のPIN コードにあわせる場合に、ここに無線子機側のPIN コードを入力し、 実行 をクリックします。
現在の暗号キー情報	現在の暗号化設定の情報を表示します。

5

セキュリティを設定する(暗号化設定)

無線LAN で使用するデータの暗号化などのセキュリティの設定方法について説明します。

●本製品で設定可能なセキュリティ機能

WEP	無線LAN の普及期からある暗号化方式です。本製品は64bit と128bit の2 種類の暗号強度が選択できます。ご利用の無線LAN 環境でWPA-PSK またはWPA2-PSK が使用可能な場合は、そちらを使用することをお勧めします。
WPA-PSK WPA2-PSK	新しいセキュリティである「WPA」を使用します。本製品では、WPA-PSK (TKIP)とWPA2-PSK (AES)が使用できます。
WPA2-Mixed	WPA-PSK (TKIP) と WPA2-PSK (AES) の混在環境に対応します。

●本製品のセキュリティ設定の初期値

項目		本製品の設定値(初期値)							
SSID		elecom2g-xxxxxx ※ xxxxxx は、0 ～ 9、a ～ f のランダムな英数字です。							
認証方式	WPA2-Mixed	無線子機側は「WPA2-PSK」を選択します。							
暗号化方式	AES	無線子機側は「AES」を指定します。							
WPA ユニキャスト 暗号スイート		WPA2-PSK							
共有キー フォーマット		パスフレーズ							
暗号キー		本製品に付属の設定情報シートをご覧ください。使用されている文字は半角英数字の大文字です。 ●設定情報シート 設定情報シート (初期値) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border: 1px solid black; padding: 2px;">2.4GHz SSID</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">elecom2g-xxxxxx</td> <td rowspan="3" style="width: 30%; text-align: center; vertical-align: middle;"> 設定用 QR コード  みほん </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">暗号化方式</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">WPA/WPA2 mixed</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">暗号キー</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">yyyyyyyyyyyyyy</td> </tr> </table> ※「xxxxxx」には、6桁の0～9、a～fのランダムな英数字が入ります。 ※「yyyyyyyyyyyyyy」には、13桁のランダムな数字が入ります。 ※出荷時期によっては、実際の設定情報シートがイラストと異なる場合があります。 PASS 記入欄	2.4GHz SSID	elecom2g-xxxxxx	設定用 QR コード  みほん	暗号化方式	WPA/WPA2 mixed	暗号キー	yyyyyyyyyyyyyy
2.4GHz SSID	elecom2g-xxxxxx	設定用 QR コード  みほん							
暗号化方式	WPA/WPA2 mixed								
暗号キー	yyyyyyyyyyyyyy								

WEP の設定

無線通信の暗号化セキュリティに「WEP」を使用します。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[無線設定]→[暗号化設定]を選択します。

●WEP 選択時の設定画面

暗号化設定

セキュリティのために、暗号化を設定できます。

SSIDの選択: elecom2g-xxxxxx 適用

暗号化: WEP

キーの長さ: 128-bit

キーの種類: ASCII (13文字)

暗号キー1:

パスワードの表示: ☐

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

設定の手順



注意

本製品および本製品に接続する、すべての無線子機は、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線LANを利用できません。

1 [SSIDの選択]で、セキュリティ設定をする「SSID」を選択します。

SSIDの選択: elecom2g-xxxxxx elecom2g2nd_XXXXXX 適用

暗号化: WEP

キーの長さ: 128-bit

選択する

2 [暗号化]で、[WEP]を選択します。

セキュリティのために、暗号化を設定します。

SSIDの選択: elecom2g-xxxxxx 適用

暗号化: なし WEP WPA WPA2 WPA-Mixed

WPA暗号スイート: ☒ TKIP ☐ AES

選択する

3 [キーの長さ]でセキュリティ強度を選択します。通常は128bitを選択します。

MEMO

ご使用になる無線子機が64bit に対応していない場合などは、64bit を選択します。ご使用になる無線子機に1 台でも64bit に対応していないものがある場合は、64bit しか使用できません。なお、64bit はセキュリティ性が低くお勧めできませんので、なるべく使用しないでください。

4 [キーの種類]で暗号キーの入力形式を選択します。

- ここで選択した形式の文字列で暗号化キーを設定します。

ASCII (5 文字)	キー長で64bit を選択した場合です。[暗号化キー]に、半角英数字5 文字を入力します。
ASCII (13 文字)	キー長で128bit を選択した場合です。[暗号化キー]に、半角英数字13 文字を入力します。
Hex (10 文字)	キー長で64bit を選択した場合です。[暗号化キー]に、16 進数10 文字を入力します。
Hex (26 文字)	キー長で128bit を選択した場合です。[暗号化キー]に、16 進数26 文字を入力します。

※16 進数とは、0～9、a-f を組み合わせた文字列です。

5 手順 4 で選んだ入力形式で、暗号キーを入力します。

- ASCII の場合は大文字と小文字が区別されます。Hex の場合は大文字と小文字は区別されません。

6 すべての設定が終われば **適用** をクリックします。

SSIDの選択: elecom2g-xxxxxx ▼ **適用** クリック

暗号化: WEP ▼

キーの長さ: 128-bit ▼

キーの種類: ASCII (13文字) ▼

暗号キー1: ●●●●●●●●●●●●●

パスワードの表示: ☐

7 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。 **更新** をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[戻る]ボタンを押してください。
すべての設定を反映し再起動するには[更新]ボタンを押してください。

戻る **更新** クリック

8 待ち時間が表示され、0 秒になると自動的に設定ユーティリティのメイン画面に戻ります。

本製品を再起動中です。

ページが切り替わるまで絶対に本製品の電源を切らないでください。
残り 36 秒...

9 これで本製品の WEP によるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線子機側にも設定してください。

- 無線子機側の設定方法は、無線子機のマニュアルをお読みください。

WPA-PSK/WPA2-PSK の設定

WPA-PSK (TKIP) または WPA2-PSK (AES) を使ってセキュリティ設定をします。WPA2-PSK/WPA-PSK は、小規模なネットワークでも安全度の高いセキュリティを簡単に実現できます。設定にあたっては、あらかじめ「暗号キー」を決めておいてください。



本製品および本製品に接続する、すべての無線子機は、各項目の設定値がすべて同一になっている必要があります。設定が一部でも異なっていると無線 LAN を利用できません。



画面左のメニューリストから[無線設定]→[暗号化設定]を選択します。

●WPA-PSK 選択時の設定画面

暗号化設定

セキュリティのために、暗号化を設定できます。

SSIDの選択:

elecom2g-xxxxxx

▼

適用

暗号化:

WPA

▼

WPA暗号スイート:

☒ TKIP ☐ AES

キーの種類:

パスフレーズ

▼

暗号キー:

●●●●●●●●

パスワードの表示:

☐

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

1 [暗号化]で、[WPA]、[WPA2]または[WPA2-Mixed]を選択します。

セキュリティのために、暗号化を有効にします。

SSIDの選択: なし ▼ 適用 選択する

暗号化: なし WEP WPA WPA2 WPA2-Mixed

WPA暗号スイート: ☒ TKIP ☐ AES

WPA	WPA-PSKを使用します。[WPA 暗号スイート]は、「TKIP」がオンになります。
WPA2	WPA2-PSKを使用します。[WPA2 暗号スイート]は、「AES」がオンになります。
WPA2-Mixed	無線クライアントにWPA-PSK (「AES」または「TKIP」)とWPA2-PSK (「AES」または「TKIP」)が混在している場合でも、いずれの無線子機とも接続できます。また、無線子機がすべて「WPA2-PSK (TKIP)」の場合も、こちらを選択します。

2 [暗号キー]で、暗号キーの入力形式を選択します。

暗号化: WPA ▼

WPA暗号スイート: ☒ TKIP ☐ AES

キーの種類: パスフレーズ HEX (64文字) 選択する

暗号キー:

パスワードの表示: ☐

パスフレーズ	半角英数字 (8 ～ 63 文字) を使用できます。大文字と小文字が区別されます。
Hex	16 進数 64 文字 (固定) を使用できます。大文字と小文字は区別されません。

※ 16 進数とは、半角英数字の 0 ～ 9、a-f を組み合わせた文字列です。

3 [暗号キー]に、手順 2 で選択した入力形式で文字列を入力します。

キーの種類: パスフレーズ ▼

暗号キー: 入力する

パスワードの表示: ☐

ここをチェックすることで、現在のパスワードを表示できます。

4 すべての設定が終われば 適用 をクリックします。

SSIDの選択: elecom2g-xxxxxx ▼ 適用 クリック

暗号化: WPA ▼

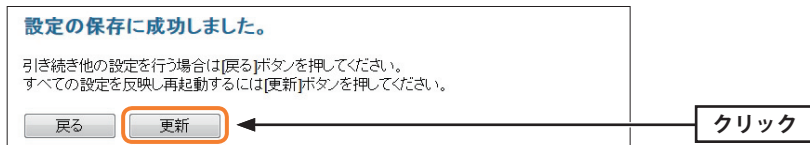
WPA暗号スイート: ☒ TKIP ☐ AES

キーの種類: パスフレーズ ▼

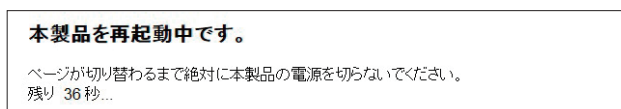
暗号キー:

パスワードの表示: ☐

- 5** 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。**更新** をクリックします。



- 6** 待ち時間が表示され、0 秒になると自動的に設定ユーティリティのメイン画面に戻ります。



- 7** これで本製品のWPA によるセキュリティ設定は完了です。同じ設定を無線子機側にも設定してください。

- 無線子機側の設定方法は、無線子機のマニュアルをお読みください。

6 インターネット設定

WAN ポートや、LAN側IPアドレス等に関する設定をします。

LAN 設定画面

本製品のLAN（ローカルネットワーク）側のIPアドレス情報等を設定します。

MEMO

ルーターモードとアクセスポイントモードで表示される内容が異なります。

画面の表示

画面左のメニューリストから[インターネット設定]→[LAN 設定]を選択します。

●ルーターモードの場合

LAN設定

本製品のLAN設定を行います。

IPアドレス:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ:

DHCP範囲: - [接続端末の表示](#)

DHCPリース時間: (1 ~ 10080 分)

固定DHCP: [固定DHCPの設定](#)

[適用](#)

●アクセスポイントモードの場合

LAN設定

本製品のLAN設定を行います。

IPアドレス:

サブネットマスク:

デフォルトゲートウェイ:

[適用](#)

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用](#) をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [後で再起動する](#) を、変更した内容をすぐに有効にする場合は [今すぐ再起動する](#) をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

IP アドレス	本製品の LAN 側の IP アドレスです。初期値は「192.168.2.1」(ルーターモード)です。
サブネットマスク	使用中のネットワークのサブネットマスクを入力します。初期値は「255.255.255.0」です。
デフォルトゲートウェイ	インターネットなど LAN から外部へ接続する場合にデフォルトゲートウェイを設定します。インターネットに接続する場合、ルーターの LAN 側 IP アドレスを入力します。
DHCP 範囲	DHCP サーバー機能を利用する場合、DHCP サーバーがクライアントに自動的に割り付ける IP アドレスの範囲を指定します。開始アドレス～終了アドレスの範囲でクライアントに IP アドレスが自動的に割り当てられます。 接続端末の表示 をクリックすると、接続中の端末の IP アドレス一覧が別ウィンドウで表示されます。
DHCP リース時間	DHCP サーバーが割り当てる IP アドレスの有効時間を入力します。1 ～ 10080 分の範囲で設定できます。初期値は「480」です。
固定 DHCP	固定 DHCP の設定 をクリックすることで、クライアントの MAC アドレスと指定したい IP アドレスを関連付けて登録することができます。設定方法については P71 「固定 DHCP 設定画面」をお読みください。

固定 DHCP 設定画面

DHCP サーバー機能を有効にしている場合、クライアントには自動的に IP アドレスが割り当てられます。しかし、クライアントのネットワーク機器によっては、特定の IP アドレスを割り当てたい場合があります。クライアントの MAC アドレスと指定したい IP アドレスを関連付けて登録することができます。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[インターネット設定]→[LAN 設定]を選択し、[固定 DHCP の設定]をクリックします。

固定DHCP設定

特定の端末に固有のIPアドレスを設定できます。

☐ 固定DHCPの有効

IPアドレス: (記入例: 192.168.2.100)

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大19文字)

固定DHCPリスト:

IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
選択して削除	全て削除		

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●入力・設定画面の内容

固定 DHCP の有効	この項目をチェックしている場合に、固定 DHCP リストの内容が有効になります。チェックしていない場合は、リストに登録されていても IP アドレスは固定されません。
IP アドレス	クライアントに割り当てる IP アドレスを入力します。
MAC アドレス	IP アドレスを固定するクライアントの MAC アドレスを入力します。
コメント	自由にコメントを入力できます。登録したクライアントを区別するのに便利です。

●固定 DHCP リスト

入力画面で設定した内容をリストとして表示します。「選択」は、登録したクライアントの情報を削除する場合にチェックします。

●各ボタンの機能

選択したものを削除	「選択」をチェックした無線子機をリストから消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 OK をクリックしたあと、 今すぐ再起動する をクリックします。
全て削除	リストの無線子機の設定をすべて消去します。このボタンをクリックすると確認の画面が表示されますので、 OK をクリックしたあと、 今すぐ再起動する をクリックします。

固定 DHCP の設定方法

固定DHCP設定

特定の端末に固有のIPアドレスを設定できます。

☒ 固定DHCPの有効

IPアドレス: (記入例: 192.168.2.100)

MACアドレス: (記入例: 0090fe0123ab)

コメント: (最大19文字)

固定DHCPリスト:

IPアドレス	MACアドレス	コメント	選択
選択して削除	全て削除		

- ① 「固定 DHCP の有効」をチェックします。
- ② クライアントに割り当てたい IP アドレスを入力します。「.」で区切る必要があります。
例 192.168.2.100
- ③ クライアントの MAC アドレスを入力します。「:」で区切る必要はありません。
例 0090fe0123ab
- ④ 必要に応じて[コメント]に、コメントを入力します。
- ⑤ をクリックすると「正常に設定を変更しました!」と表示されます。
- ⑥ 登録するクライアントを追加する場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従って操作します。

WAN 設定画面

ルーターモードのときにのみ表示される画面です。

MEMO

本製品のWAN（インターネット）側の設定をします。[WAN アクセスタイプ]で、DHCP・PPPoE・固定IPのいずれを選択するかで、設定画面が異なります。

画面の表示

画面左のメニューリストから[インターネット設定]→[WAN 設定]を選択します。

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイプ DHCP

ホスト名: (最大 30 文字)

MTUサイズ: 1492 (1400-1492 バイト)

☒ DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する
☐ 次のDNSサーバーを使用する

DNS 1: (記入例: 192.168.5.44)
 DNS 2: (記入例: 192.168.5.43)
 DNS 3: (記入例: 192.168.5.42)

MACアドレスコピー: 000000000000
 [接続中のPCからMACアドレスをコピー]

☒ UPnPを有効にする。
☐ WAN側からのpingに対する応答を有効にする。

●「DHCP」を選択した場合 ※画面イメージは上記参照

ホスト名	必要に応じて自由にホスト名を入力できます。
MTU サイズ	MTU (Maximum Transmission Unit)、1 回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)の値(1400～1492)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1492)
DNS サーバーの設定	● DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する プロバイダーより自動的に DNS サーバーのアドレスを取得する場合に使用します。プロバイダーより特に指示がない場合は、こちらを選択します。 ● 次の DNS サーバーを使用する プロバイダーから DNS アドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。DNS が 1 個の場合は「DNS1」に、2～3 個の場合は「DNS1」「DNS2」「DNS3」にそれぞれアドレスを入力します。
MAC アドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証を行うような CATV インターネット接続サービスで使します。 コピー をクリックすると、設定ユーティリティにアクセス中のパソコンの MAC アドレスをコピーして入力します。

UPnP を有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効 / 無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：有効)
WAN 経由での ping 実行を有効にする	有効にすると、ネットワークの接続テストの時などで WAN 側から ping に本製品が応答するようになります。セキュリティが低下しますので、通常は無効にすることをおすすめします。(初期値：無効)

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず **適用** をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は **後で再起動する** を、変更した内容をすぐに有効にする場合は **今すぐ再起動する** をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●「PPPoE」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイプ **PPPoE**

ユーザー名: (最大 57 文字)

パスワード: (最大 57 文字)

サービス名: (最大 40 文字)

MTUサイズ: (1360-1492 バイト)

☒ DNSサーバのアドレスを自動的に取得する
☐ 次のDNSサーバを使用する

DNS 1: (記入例: 192.168.5.44)
 DNS 2: (記入例: 192.168.5.43)
 DNS 3: (記入例: 192.168.5.42)

MACアドレスコピー:

[接続中のPCからMACアドレスをコピー]

☒ UPnPを有効にする。
☐ WAN側からのpingに対する応答を有効にする。

ユーザー名	プロバイダーより提供されたユーザー名を入力します。ユーザーIDに「@」がある場合、ユーザー名のあとに、「@」とご契約のプロバイダーの識別子を入力する必要があります。 (例) <u>userID123</u> @ <u>elecom.net</u> ユーザー名 プロバイダー識別子
パスワード	プロバイダーより提供されたパスワードを入力します。
サービス名	必要に応じて自由にプロバイダー名などの名称を入力できます。
MTU サイズ	MTU (Maximum Transmission Unit)、1 回の転送で送信できるデータの最大値(単位はバイト)の値(1360～1492)を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値：1452)

DNS サーバーの設定	● DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する プロバイダーより自動的に DNS サーバーのアドレスを取得する場合に使用します。プロバイダーより特に指示がない場合は、こちらを選択します。 ● 次の DNS サーバーを使用する プロバイダーから DNS アドレスの指示があった場合に、こちらを選択します。DNS が 1 個の場合は「DNS1」に、2 ～ 3 個の場合は「DNS1」「DNS2」「DNS3」にそれぞれアドレスを入力します。
MAC アドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証を行うような CATV インターネット接続サービスで使します。 コピー をクリックすると、設定ユーティリティにアクセス中のパソコンの MAC アドレスをコピーして入力します。
UPnP を有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値：有効)
WAN 経由での ping 実行を有効にする	有効にすると、ネットワークの接続テストの時などで WAN 側から ping に本製品が応答するようになります。セキュリティが低下しますので、通常は無効にすることをおすすめします。(初期値：無効)

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は を、変更した内容をすぐに有効にする場合は をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

●「固定 IP」を選択した場合

WAN設定

本製品のWAN設定を行います。

WANアクセスタイプ
固定IP:
サブネットマスク:
デフォルトゲートウェイ:
MTUサイズ:
DNS 1:
DNS 2:
DNS 3:
MACアドレスコピー:

固定IP ▼

1500 (1400-1500 バイト)
 (記入例: 192.168.5.44)
 (記入例: 192.168.5.43)
 (記入例: 192.168.5.42)
000000000000
 [接続中のPCからMACアドレスをコピー]

☒ UPnPを有効にする。
☐ WAN側からのpingに対する応答を有効にする。

固定IP	プロバイダーから提供された情報を入力します。
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
MTU サイズ	MTU (Maximum Transmission Unit)、1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位はバイト) の値 (1400 ~ 1500) を設定します。通常は変更する必要はありません。(初期値: 1500)
DNS 1	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 1 個しかない場合は、こちらにだけ入力します。
DNS 2	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 2 個ある場合は、こちらにセカンダリ DNS のアドレスを入力します。
DNS 3	プロバイダーから DNS アドレスの指示が 3 個ある場合は、こちらにターシャリ DNS のアドレスを入力します。
MAC アドレスコピー	インターネット側に本製品ではなく、パソコンの MAC アドレスを通知する場合は、ここにパソコンの MAC アドレスを入力します。パソコンの MAC アドレスによって接続認証を行うような CATV インターネット接続サービスで使います。 [コピー] をクリックすると、設定ユーティリティにアクセス中のパソコンの MAC アドレスをコピーして入力します。
UPnP を有効にする	UPnP (Universal Plug and Play) 機能の有効/無効を設定します。 UPnP を有効にすると、UPnP 対応 OS で UPnP 対応ネットワーク機器を使用した場合に、自動的に LAN 内の装置を検出して、正常に認識できるようにします。(初期値: 有効)
WAN 経由での ping 実行を有効にする	有効にすると、ネットワークの接続テストの時などで WAN 側から ping に本製品が応答するようになります。セキュリティが低下しますので、通常は無効にすることをおすすめします。(初期値: 無効)

MEMO

設定を変更した場合

設定を変更した場合は、必ず [適用] をクリックして設定を保存してください。引き続き他の項目の設定を続ける場合は [後で再起動する] を、変更した内容をすぐに有効にする場合は [今すぐ再起動する] をクリックし、画面のメッセージに従ってください。

7 システム設定

ステータス画面

本製品に関するさまざまなステータス情報を確認することができます。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[システム設定]→[ステータス]を選択します。

ステータス	
本製品のシステム情報を表示します。	
システム	
稼働時間	0day:1h:22m:54s
ファームウェアバージョン	v1.02
動作モード	ルーターモード
WAN設定	
IPアドレス	192.168.5.155
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.5.1
MACアドレス	bc:5c:4c:50:dd:94
LAN設定	
IPアドレス	192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0
DHCPサーバー	有効
MACアドレス	bc:5c:4c:50:dd:95
無線設定 (1st SSID)	
SSID	elecom2g-50dd94
チャンネル	1ch
暗号化	WPA2 Mixed
BSSID	bc:5c:4c:50:dd:95
接続端末台数	2

●システム

稼働時間	本製品の起動後の経過時間を表示します。電源を切ったり、再起動するとリセットされます。
ファームウェアバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。
動作モード	現在の通信モードを表示します。本製品では、ルーターモードとアクセスポイントモード、無線子機（コンバーター）モードが選択できます。

●WAN 設定

●(ルーターモード時のみ表示)

IP アドレス	現在の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	現在のデフォルトゲートウェイを表示します。
MAC アドレス	本製品の WAN 側の MAC アドレスを表示します。

●LAN 設定

IP アドレス	現在の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
DHCP	DHCP 機能の状態を表示します。
MAC アドレス	本製品の LAN 側の MAC アドレスを表示します。

●無線設定 (1st SSID)

SSID	現在使用中の SSID を表示します。
チャンネル	現在のチャンネルモードを表示します。
暗号化	現在使用中の暗号化設定を表示します。
BSSID	BSSID を表示します。
接続端末台数	この SSID に接続している無線子機の数です。

ファームウェア更新画面

機能の充実や改良により、本製品のファームウェアをバージョンアップすることがあります。ファームウェアは、弊社Webサイトのサポートページよりダウンロードできます。

<http://www.elecom.co.jp/>

画面の
表示

画面左のメニューリストから[システム設定]→[ファームウェア更新]を選択します。

ファームウェアの更新手順

- ① 弊社ホームページの【ダウンロード】から、本製品の最新ファームウェアを【検索】して、パソコンに保存します。
 - ・ダウンロードファイルは圧縮されています。解凍してからご利用ください。(OSによっては、解凍作業は不要です。)
 - ・ダウンロード前に注意事項などがないか、ダウンロードページでご確認ください。
- ② **参照** をクリックします。
- ③ 解凍したファームウェア (拡張子がbin のファイル) を指定して、**開く** をクリックします。
- ④ **更新** をクリックします。
- ⑤ 「本製品を再起動中です。」と表示され、待ち時間が表示されます。
 - ・完了まで絶対に製品の電源を切らないでください。
- ⑥ 再起動のカウントダウンが終了し、設定ユーティリティのトップ画面に切り替わります。

以上で、ファームウェアの更新は終了です。

本製品から電源ケーブルを抜き差しした上で、お使いください。

設定保存と復元画面

本製品の設定情報をファイルとして保存できます。保存したファイルを読み込むことで、本製品の状態を、設定情報を保存した時点の状態にすることができます。また、本製品の設定内容を初期値(工場出荷時の状態)に戻すことができます。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[システム設定]→[設定保存と復元]を選択します。

設定保存と復元

現在の設定を保存したり、復元したり、初期化したりできます。

設定を保存:

設定を復元:

設定を初期化:

設定の保存方法

設定を保存:

- 1 [設定の保存]の をクリックします。
- 2 <ファイルのダウンロード>画面が表示されますので、 をクリックします。
- 3 <名前を付けて保存>画面が表示されますので、ファイルの保存場所を指定し、 をクリックします。指定した場所に「config.dat」ファイルが保存されます。

設定の復元方法

設定を復元:

- 1 [設定を復元]の をクリックします。
- 2 <ファイルの選択>画面が表示されますので、設定ファイルを指定します。
- 3 をクリックします。
- 4 「本製品を再起動中です。」と表示され、待ち時間が表示されます。
- 5 再起動のカウントダウンが終了し、設定ユーティリティのトップ画面に切り替わります。

設定を初期化(工場出荷時の状態)する

本製品の設定を初期化(工場出荷時の状態に戻す)します。ご購入後に変更した設定はすべて初期値に戻ります。必要に応じて初期化の前に設定をファイルに保存してください。

設定を初期化:

初期化

- ① [設定を初期化]の **初期化** をクリックします。
- ② 工場出荷時の状態に戻してよいか、確認のメッセージが表示されますので **OK** をクリックします。
- ③ 「本製品を再起動中です。」と表示され、待ち時間が表示されます。
- ④ 再起動のカウントダウンが終了し、設定ユーティリティのトップ画面に切り替わります。

パスワード設定画面

本製品の設定ユーティリティにログインするための、ユーザー名とパスワードを設定 / 変更します。

画面の
表示

画面左のメニューリストから[システム設定]→[パスワード設定]を選択します。

パスワード設定

本製品の管理画面にアクセスするためのユーザー名とパスワードを変更できます。

※ユーザー名を空欄にすると、パスワードによる保護は設定できません。

※全ての項目は、半角英数字(a~f, 0~9)で設定してください。

※情報漏洩を低減するため、初期設定時に変更することをお勧めします。

ユーザー名: (最大30文字)

新パスワード: (最大30文字)

新パスワードの確認:



注意

●パスワードの変更をお勧めします

設定ユーティリティへのパスワードが初期値のままだと、各種設定情報を自由に閲覧したり、パスワードを変更したりすることができます。設定ユーティリティのログインパスワードの変更をお勧めします。

●変更後のユーザー名とパスワードを忘れないでください

変更後のユーザー名とパスワードを忘れると、本製品を初期化する必要があります。すべての設定が初期化されますので、ユーザー名、パスワードは忘れないようにしてください。

設定の手順

- 1 [ユーザー名]に、新しく設定するユーザー名を入力します。
- 2 [新パスワード]に、新しく設定するパスワードを入力します。
- 3 [新パスワードの確認]に、もう一度、新しいパスワードを入力します。
- 4 をクリックします。
- 5 「本製品を再起動中です。」と表示され、待ち時間が表示されます。
0 秒になると、自動的に認証画面が表示されます。
- 6 新しく設定したユーザー名とパスワードを入力し、 をクリックします。
 - ・ 設定ユーティリティのトップ画面が表示されます。

Appendix

付録編

1

こんなときは

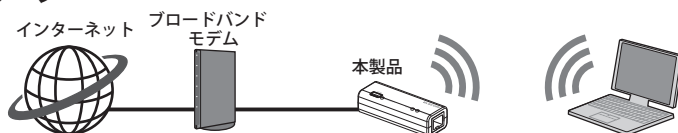
MEMO

本製品に付属の「設定手順書②」の「こんなときには」もご参照ください。

自宅でメインルーターとして使う（DHCP、PPPoE回路での設定例）

●自宅でもルーターとして使用したい。

接続イメージ



- ①機器を接続します。
上記の接続イメージを参考に、ご自宅のブロードバンドモデム（終端装置）のLANポートと本製品のETHERNETポートをLANケーブルで接続します。
- ②本製品の電源を入れます。
付属のACアダプターまたはUSBケーブルを使用して電源を入れます。
- ③本製品とスマートフォン、またはパソコンを無線で接続します。
接続の手順は付属の「設定手順書①」を参照してください。
- ④本製品の管理画面にアクセスします。
管理画面にアクセスする手順は付属の「設定手順書②」を参照してください。
- ⑤設定ウィザードを起動してインターネット回線の設定をします。
表示された画面の案内に従って設定を進めてください。

<スマートフォンの場合> <パソコンの場合>



設定メニュー		本製品のシステム情報を表示します。
▶ 接続ウィザード		
▶ 動作モード選択		
▶ 無線設定		
▶ インターネット設定		
▶ システム設定		
言語設定	日本語 ▼	
システム		
稼働時間	0day 1h 22m 54s	
ファームウェアバージョン	v1.02	
動作モード	ルーターモード	
WAN設定		
IPアドレス	192.168.5.155	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	192.168.5.1	
MACアドレス	bc:5c:4c:5d:dd:94	
LAN設定		
IPアドレス	192.168.2.1	
サブネットマスク	255.255.255.0	
DHCPサーバー	有効	
MACアドレス	bc:5c:4c:5d:dd:95	

※下記の画面が表示された場合は、インターネットプロバイダーから提供されたユーザー名、パスワードを入力してください。

お使いの回線は、PPPoE回線です。ご契約のプロバイダーから提供されている、認証ID（ユーザー名）・認証パスワード（パスワード）を入力し、「次へ」をクリックしてください。

>ユーザー名は、「@」以降も必ず入力する必要があります。

ユーザー名:

パスワード:

次へ 戻る

- ⑥インターネットへの接続
ウィザードが終了すると設定は完了です。
ブラウザを起動してインターネットへ接続ができることを確認してください。

無線LAN 関係のトラブル

●無線LAN がつながらない。

- ①ネットワーク設定で実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか？
プロトコル (TCP/IP など)、クライアント (Microsoft Network クライアントなど)、サービス (Microsoft Network 共有サービスなど) を環境に応じて設定する必要があります。
- ②ルーターなどのDHCP サーバー機能を使用せずにインターネットプロトコル「TCP/IP」を利用する場合は、各パソコンに手動でIP アドレスを割り当てる必要があります。
- ◆CATVインターネットなどでは、回線事業者からIPアドレスを指定される場合があります。
その場合は指示に従ってください。
- ③本製品のセキュリティ設定やアクセスポイントのMAC アドレスフィルタリング設定は正しいですか？
セキュリティ設定は、無線LAN ネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定にする必要があります。また、MAC アドレスフィルタリングを設定していると、設定条件によっては無線LAN に接続できない場合があります。

●セキュリティ機能を設定後に無線LANがつかない。

- ①セキュリティ設定は、同じ無線LAN ネットワーク上にあるすべての機器で同じ設定になっている必要があります。設定が少しでも異なる機器はネットワークに接続することができません。
 - ②各セキュリティ機能で使用するパスワードや暗号などの文字列は大文字と小文字が区別されたりします。また、意味のない文字列は入力ミスが発生しやすいので特に注意して確認してください。
- ◆セキュリティ設定でのトラブルのほとんどがスペルミスや設定ミスですのでよく確認してください。
- ③設定を変更した直後や設定が正しい場合は、アクセスポイントを含め、すべての機器の電源を入れ直してから接続してみてください。

●WPS がつかない。

- ①入力したPIN コードが誤っていることがあります。再度PIN コードを自動生成して接続してください。繰り返し接続に失敗するようであれば、他の接続方法を試してみてください。

共通のトラブル

●インターネットに接続できない。

- ①TCP/IP プロトコルが正しく設定されているかを確認してください。
〈ネットワーク〉画面でTCP/IP プロトコルが設定されているかを調べてください。見あたらない場合は、TCP/IP プロトコルを追加してください。
- ②DHCP サーバー機能を使用していない場合は、IP アドレスを手動で割りあててください。
TCP/IP のプロパティにある〈IP アドレス〉タブで設定します。
- ③TCP/IP プロトコルの設定が正しいかを確認してください。
プロバイダーによって、IP アドレスを自動取得する場合と固定IP アドレスを指定する場合があります。プロバイダーから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。
- ④プロバイダーから提供された情報をすべて設定したかを確認してください。
IP アドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロバイダーから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってください。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークパソコンを開くと「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

- ①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、デバイスマネージャなどで本製品の設定を確認し、OS 側が本製品を正常に認識しているか調べてください。

●他のパソコンのファイルやプリンターの共有ができない。

- ①ネットワーク設定をしましたか？
無線LAN が正常に動作していてもネットワーク設定ができていないとファイルの共有やプリンターの共有はできません。

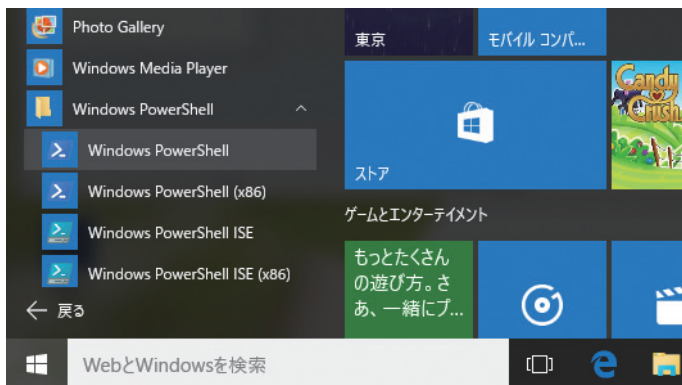
2 パソコンのIPアドレスの確認方法

本製品の設定ユーティリティにアクセスできない場合に、本製品の設定ユーティリティにアクセスするパソコンのIP アドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。ここで説明しているIP アドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントおよび無線子機のIP アドレスを確認するときにも使用できます。

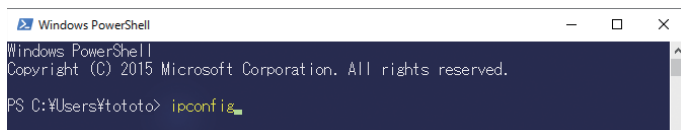
パソコンのIPアドレスを表示する

Windows 10の場合

- ① [スタート]→[すべてのアプリ]→[Windows PowerShell]をクリックします。



- ② <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。



※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「xxx」は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ③ 「イーサネット アダプター イーサネット[※]」の「IPv4 アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます (xxx は任意の数字)。

イーサネット アダプター ローカル エリア接続:

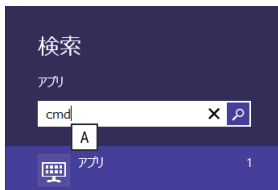
```
接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . . : fe80::b96c:a23f:e809:d0a7%18
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.1.220
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.1.221
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ⑤ 本製品を工場出荷状態 (初期値) で使用している場合に、パソコンで表示されるIP アドレスの内容については、P219「工場出荷時での表示結果」をお読みください。

Windows 8.1/8 の場合

- ① スタート 画面で、チャームを表示します。
- ② [検索]を選択します。
- ③ アプリで「cmd」と入力し、検索します。



- ④ 画面右の検索結果に「コマンドプロンプト」が表示されますので、クリックします。
- ⑤ <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]を押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.2.9200]
(c) 2012 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\test>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「xxx」は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ⑥ 「イーサネット アダプター イーサネット[※]」の「IPv4 アドレス」に現在のIP アドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます (xxx は任意の数字)。

イーサネット アダプター イーサネット :

```
接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
IPv6 アドレス . . . . . : 2001:a001:88e7:0:b840:44f3:43d2:8763
一時 IPv6 アドレス . . . . . : 2001:a001:88e7:0:5daf:432d:efaf:79ed
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . . : fe80::b840:44fe:43d2:8763%12
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.2.101
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : fe80::20b:a2ff:fe7b:ab9e%12
                                      192.168.2.1
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ⑦ 本製品を工場出荷状態 (初期値) で使用している場合に、パソコンで表示されるIP アドレスの内容については、P92 「有線LAN 関係の工場出荷時の設定値 (初期値)」をお読みください。

Windows 7/Vista の場合 ※画面はWindows Vista の例です。

- ① [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順にクリックします。
- ② <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.60000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\master>ipconfig
```

※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「xxx」は、内部コマンド・・・と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ③ 「イーサネット アダプタ ローカル エリア接続[※]」の「IPv4 アドレス」に現在のIP アドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます (xxx は任意の数字)。

イーサネット アダプタ ローカル エリア接続 :

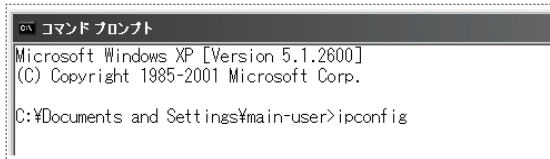
```
接続固有の DNS サフィックス . . . . . :
リンクローカル IPv6 アドレス . . . . . : fe80::b0ac:15cf:beb9:d431%8
IPv4 アドレス . . . . . : 192.168.2.100
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.2.1
```

※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ④ 本製品を工場出荷状態（初期値）で使用している場合に、パソコンで表示されるIP アドレスの内容については、P92「有線LAN 関係の工場出荷時の設定値（初期値）」をお読みください。

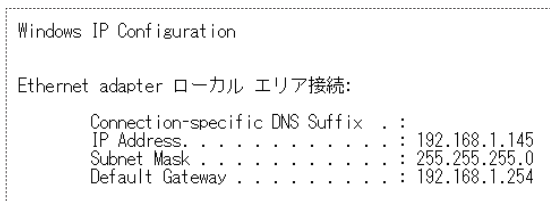
Windows XP の場合

- ① [スタート]→[(すべての) プログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]の順にクリックします。
- ② <コマンドプロンプト>画面が表示されます。「>」あとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。



※入力する文字は半角英数字です。入力ミスをした場合は、[BackSpace]キーを押して間違った文字のところまで削除して戻ります。このとき、途中の文字だけを削除することはできません。「"xxx" は、内部コマンド…」と表示された場合は、入力ミスです。もう一度入力してください。

- ③ 「イーサネット アダプター ローカル エリア接続^{*}」の「IP Address」に現在のIP アドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxx は任意の数字）。



※本製品に接続しているクライアントの種類によって表記は異なります。

- ④ 本製品を工場出荷状態（初期値）で使用している場合に、パソコンで表示されるIP アドレスの内容については、P86「有線LAN 関係の工場出荷時の設定値（初期値）」をお読みください。

3

主な仕様と工場出荷時の設定

主な仕様

データ転送速度(有線)	10/100Mbps (自動判別)
ポート数(有線)	ETHERNET ポート：1 ポート ※いずれも Auto MDI/MDI-X に対応
消費電流(定格)	約 2.4W (最大)
動作温度 / 動作湿度	0 ～ 40℃ / 90%以下(結露無きこと)
外形寸法	約 幅 24x 奥行き 65x 高さ 18mm
質量	約 20g (本体のみ)

※ IPv6通信ならびにフレッツ光ネクストの NGN IPv4 サービス(サービス情報サイトやウイルスクリア等)には対応していません。また、PPPoE マルチセッション機能や、ポート転送、DMZ、DDNS 機能は搭載していませんが、一般的なインターネット接続、Wi-Fi ゲームでの利用には問題ありません。

設定ユーティリティの工場出荷時の設定値

ログオン時の ユーザー名とパスワード	ユーザー名：admin パスワード：admin
-----------------------	----------------------------

有線 LAN 関係の工場出荷時の設定値(初期値)

LAN 側 IP アドレス	192.168.2.1 (ルーターモード) 192.168.2.251 (アクセスポイント／子機／中継器モード)
---------------	---

無線 LAN 関係の工場出荷時の設定値(初期値)

SSID	elecom2g-xxxxxx ※ 1
暗号化	WPA/WPA2 プレシェアード ※ 2
暗号キー	付属の「設定情報シート」に記載
暗号キーフォーマット	パスフレーズ

※ 1 xxxxxx は、0 ～ 9、a ～ f のランダムな英数字です。

※ 2 無線アダプター側の設定では、**WPA2-AES** を選択してください。



無線 LAN ポータブルルーター WRH-300xx3シリーズ WRH-300xx3-Sシリーズ
ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社 2016 年 9 月 14 日 第 1 版

©2016 ELECOM Co, Ltd. All rights reserved.